

平田司教認可  
発行所 福岡市中央区浄水通39  
福岡司教館  
兼人 山田成章  
編集 電話092-522-5139  
振替口座 福岡3-42981  
定価 一部 25円

祈禱の使徒会  
（一般）世の光であるキリストの  
認識  
（布教）諸教との対話

年頭の願い  
福岡教区司教 平田三郎



新しい恵みの年を迎え、教区の司祭・修道者・信徒一同の上に幼な子イエズス様と聖母マリア様の祝福を願い、一九八三年が満ちみちた平和の年、福音教の年であらうと祈ります。

とて、ますます過越の神秘を生きてゆめがえり、その神秘を世に伝える使命に自覚めよう望んでおられます。救い主の死と復活によつて、私たちもまた、キリストと共に闇から光へ、死から生命に過越するという信仰の神秘であります。

聖年

教皇ヨハネ・パウロ二世は、去る十一月二十三日、この新しい年を特別聖年とお定めになりました。それは次の理由からです。ピオ十一世は一九三三年、世の救いが完成されて一九の世紀が流れたので、主に感謝するため、その年を特別聖年とされましたが、あれから五一年が経つた今日、現教皇は現代の教会が願いに感謝する

一月の聖体礼拝当番教会

- 一月二日 唐津
- 一月九日 鹿島
- 一月十六日 賀佐
- 一月二十三日 武雄
- 一月三十日 司教館

宣教の年

私はこの記念すべき年を宣教の年にしたいと思ひます。洗礼によって死から永遠の生命に過越させていたのだらう。私達は、この喜びを人々と分かち合つたため、宣教に力を注ぎなければなりません。第二バチカン公會議が言っているように、この宣教は教会の本質的な使命だからであります。

神の福音そのものであるキリストは、最大の福音宣教師でもありません。私は神の国のよい知らせを生け知らせねばならない。私をそのために遣わされた（ルカ4・43）と言ひ、十字架と復活を通してこの使命を全うされました。物欲、肉欲などの罪の奴隷となつて人間を解放し、神の世継ぎ、自分の兄弟として下さいました。

キリストの宣教によつて生まれ、使徒たちの手に引き継がれた教会もまた宣教の共同体であります。「あなたたちは世界に行つて福音を述べ伝えなさい」（マルコ16・15）、「あなたたちは出て行き、すべての民族を私の弟子にしてください」（マタイ28・19）は、この信仰共同体に託された使命であり、聖パウロは「福音を述べ伝えることは、私にとって誇りではなく義務です。福音を述べ伝えるは、私には不幸です」（コリント前9・16）と言つています。

教会の元旦ミサ

- 福岡市大名町 午前10時
- 福岡市美野島 午前11時
- 佐賀市佐賀 午前11時
- 熊本市手取 午前10時、10時半
- 北九州市小倉 午前11時

集められていた私達教会は、世に福音を述べ伝えるにあたり、まず自身自身に福音を告げて福音化され、み背副つて者にならなければならぬのです。そうしないと、人々への宣教は何らの実りもあげないでしよう。「響きよ、自身自身を治せ」（ルカ4・23）と言われようから、奴隷状態から脱出は困難なことで、私達はその力を生解や聖体の秘跡からいただくのです。

私達自身自身の福音化に務めるとともに人々の福音化、社会の福音化の義務、責任をも負つていまして、人間の幸福は、他人を犠牲にしてでも、多くの物を持ち安易な生活を送るべきだと考へて多くの現代人に、真の幸福が、上述の偶像礼拝から脱出し、自由の身となつてますます人間らしい人間になることにある、この脱出の力を与える者がキリストであり、その教えであることを知らねばならないと思ひます。口で言うばかりでなく、行いをもつてもその証しをしなければならぬのです。

微光

日本人から笑いが消えた？これは少し大仰かも知れないが中心街の通行人を遠慮せずに観察していると、笑いが少ない。流行の先端を身にまといたロボットが横行しているみたい。笑いは、テレビやラジオだけのものになったのだろうか。笑いが家庭から遠のくとき、ストレスは爆発する。異常な家庭が異常性に気付かないで、暴力・不正の温床となる。不況風をいやすためのせいで文化を育成するたけには、笑いの復権を強く主張したい。作られた笑いよりも自然に溢れる笑いこそ望ましい。ポーンを手にした笑い顔は、平和日本の象徴ではあるまいか。

笑いは、心のゆとりを証しに見える。日本に対する内外の重圧は、年々厳しさを増している。右に左に揺れているせいも、落ち着きさを忘れていくらしい。笑わない日本人は、心の病気がかかっているような気がしてならない。治療を即刻始めよう。▼経済大国になつたと自負したとき、「金銭がすべて」の唯物観に汚染されてしまった。また、すべての不正は金銭で解決でき、幸せは金銭で取り戻せる、と思ひこんでしまった。これが高じて、ものを大切にしない風が薄れたようだ。ものの再生運動を盛んにしようではないか。使えるものはとんまを役立てて、ホイ棄てを反省したい。豊かさか当たり前に思えるとき、感謝の念も神信仰もきり事に終わってしまう。節約元年の出発進行、

SIOTA 小まわりのきくアフターサービス。

— 営業品目 —  
コンピュータと複写機・事務機器の専社  
オフィスコンピューター・パーソナルコンピューター（マイコン）・POSTERミナル・ワードプロセッサ・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフィス家具、問仕切

（有）シオタ事務機  
福岡市南区大楠2丁目13番21号  
〒815 TEL (092) 521-8266 (代)

代表取締役 堀田 五郎  
取締役営業部長 堀田 忠良

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
52-8622

謹んでクリスマスと新しい贖いの聖年のお慶び申しあげ、併せて信仰の刷新がもつと大きく育ちますように

昭和五十八年 元旦

Table listing parishes and clergy members across various regions including 福岡地区, 北九州地区, and 佐賀地区.

Table listing parishes and clergy members in the 熊本地区 (Kumamoto Region).

「贖いの聖年」一九八三年 救世の成就から一九五〇年目

ヨハネ・パウロ二世教皇は、一九八三年十一月二十六日の枢機卿会の第二回総会を閉じるに当たって、その席上、一九八三年を「贖いの特別聖年」に決定したことを告知された。

由をあげて、聖年を有意義に過ごすように勧められる。一、人類の贖い主であるキリストは、その受難・死・復活を通して救いのみ業を全うしたが、この聖年によって人々の間に「聖年」によって人々の愛と礼賛が生ずるに違いない。

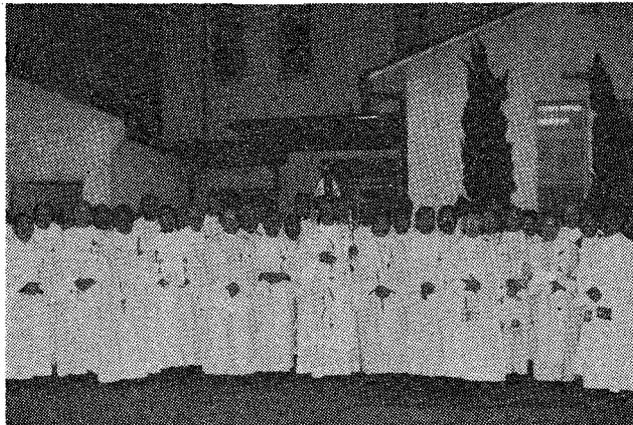
Advertisement for 八千代建設株式会社 (Yasukuni Construction Co., Ltd.) with contact information for various locations.

Advertisement for (株)メガネの正視堂 (Megane no Seishokudo) optical shop with address and phone numbers.

# 花も嵐も踏み越えた五十年 創立記念の福岡小神学校 多くの司教・司祭を送り出す

十二月五日、福岡小神学校は創立五十周年の記念式典を行った。午後四時から、浄水通カトリック教会で平田司教外四十人の司祭による共同ミサが捧げられ、多数の神学生の家族の参加があった。ミサ中、平田司教は「幾多の困難試練を乗り越えた福岡小神学校が五十年の喜びを迎えたことを神に感謝するとともに、聖主のフドウ畑に多くの働き手を送り出し、喜びを分かち合い、今後とも努力する」と力強く説教した。

ミサ後、司祭の家ホールで祝宴に移ったが、会場は大入り満員の盛況であった。参会者の中には教区内修道会代表の姿も見えたが、中でも当小神学校の卒業生司祭たち、新瀬・大阪・京都・高松から馳参して、久しぶりの「対面」となる美しい歓談場面があった。また、昭和十六年に発足した神学校援助姉妹会は、現在三人の会員だけであるが、小神学校に隣接する修道院に住み、沈黙と祈りと労働の中に神学生養成事業を側面



共同ミサに参加した司祭たち

から援助している。いつまでも記憶に留めておかなければならない影の功労者である。平田司教からも、この神学校五十年記念式典において長年の労をねぎらう感謝状と金一封を手渡され、参列者の拍手を浴びた。

ところで、福岡小神学校は、昭和七年四月十一日、福岡公教神学校（通称グリーン小神学校、当時米福したハリ外国宣教会総長ゲブリアン司教を記念したもの）の名の下に開設された。大名町教会の伝道員が神学校校舎で、十八人の神学生が起居を共にしていた。しかし、いろいろの事情のために神学校の放浪の旅がはじまることになる。御所谷一番地のカトリック学院から大名町の古巣に、や



希望にもえて長い路を歩く神学生たち

がて平尾杉谷八二番地の平尾学院へと塗り変えられていった。昭和十一年、中学校認可に伴い「泰星中学」と名義変更して発足した。約八十人の生徒がいたらしい。戦時色が濃厚になるにつれて神学校も厳しい試練に立たされることが多くなった。昭和十九年、軍命令により、泰星中学は校舎を浄水通三十八番地に移したが、神は常に味方であった。希望にみちた戦後の神学校は、長い暗いトンネルを通り過ぎた後の安堵と爽やかなさが感じられた。そこには、ただ喜びを目前にした苦しみだけが残されていた。昭和二十六年、軍から返還された小神学校旧校舎と司教館付属司祭館を使用していた福岡サン・スルピス大神学院が現在地に新築・引越した後、小神学校が移転し、足場を堅めてゆく。



影の功労者神学校援助姉妹会員

現在の小神学校校舎は、一部が昭和四十二年、残りが昭和五十五年に増築完成している。この神学校から、約七十人の司祭が送り出されているが、昭和十三年の石神司教、十七年卒の深堀敏司教、二十二年卒の島本司教の輝かしい名が自慢の種である。

## 会合と催し

- ☆平田司教 1月1日 元旦ミサ(大名町)
- 11日 教区司祭の新年祝賀会 (司教館新館ホール)
- 16日 教会の合同成人式
- 25日 修女連院長会議
- 30日 行橋教会堅信
- ☆福岡黙想の家 1月17・22日 西南大学海外研修生の研修会

## 一月命日の司祭

- ▼グスターフ・ロー神父(ハリ外国宣教会)一九五〇年一月一日 元崎崎修道院付
- ▼アウグスティン・ハルプ神父(ハリ外国宣教会)一九四五年一月十四日 元崎津教会主任
- ▼ジャン・マリー・マルタン神父(ハリ外国宣教会)一九七五年一月十八日 元聖母訪問会鎌倉修道院
- ▼ルドビコ・ガルニエ神父(ハリ外国宣教会)一九四一年一月十九日 元大江教会主任
- ▼ヨゼフ・フレスノン神父(ハリ外国宣教会)一九二九年一月元久留米教会主任

Custom Tailor

**糸永洋服店**

福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

**祭壇・洗礼盤他**

石のパイオニア  
**高木石材株式会社**  
〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

素材 { 大御所の石石他

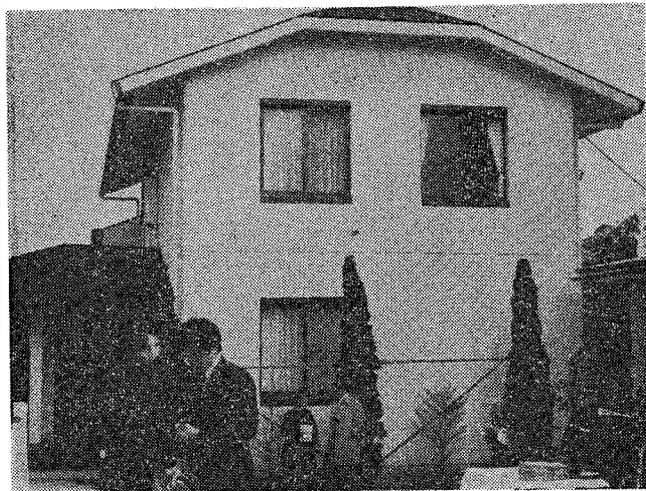
### 減量感覚的な現代を生きる フランシスコ会高宮修道院 落成式

十二月二十三日、聖フランシスコ会日本管区(管区長・佐藤敏一)師は、高宮修道院の新築事が完了したに伴い、落成式を行った。

午前十一時から、近隣の教会の司祭や聖フランシスコ会第三会員など約五〇人の参加のもと、教区総代理山田成章師が祝別して廻った。

従来の老朽化した、現実の生活に不適な構造の修道院。比して、無駄を極力避けた建物で信仰・希望・愛に基づく祈りの家であるとともに、従順・清貧・貞潔・兄弟ともに、活動の家は大切。

愛による神の国の証しの場にもふさわしい修道院になるに違いない。高宮修道院が司牧する高宮教会は、昭和二十六年十月、大名町教会から分離独立した小教会で、戦後の福岡市内の教会(十一教会)中最も古い教会である。高級住宅地の一角を占める教会であるだけに、諸団体の活動も活発で、周辺の教会にも良い刺激剤となつていく。戦時中は、大名町教会に、高宮修道院(片岡仁志院長)は、建坪八十一坪で、二人の司祭が常駐して宣教・司牧に八面六臂の活動を続けていた。清貧を中心に福音的勧告を実践する聖フランシスコ会にも、活動の家は大切。



フランシスコ会高宮修道院

### 飛脚

十一月二十五日午後六時から「今、私たちがフィリピンへ」と一出会い、結びつき」の集会が大名町教会で開かれた。ホセ・エルナンデス神父の現地フィリピンの実情報告を聞いてから、意見を交換した。民族の解放と自主をもとめる闘いのために弾圧されているフィリピンの人びとに想いを馳せ、隣国の民衆の抑圧への加担者にならないように、と意識を高めた。

十一月二十九日から十二月三日まで続いた全国司教会議は、十四件の国内殉教者の列福請願を聖座に申請した。この中には、福岡教区内のアダム荒川(二六一年四月六日)と六月三日殉教説もある(天草・富岡で斬首された)と八代のヨハネ南五郎左衛門(二六〇三年斬首)、ヨアキム渡辺次郎右衛門(二六〇六年八月年死)の三人の殉教者が含まれている。列福の早期実現のため祈ろう。

☆鳥栖教会の巡回である基山教会の最初の信者が誕生してから九十年を迎えたので、十二月二十三日、聖教九十周年記念祭があった。

☆十二月二十二日(水)午後八時から、熊本キリスト教会連合主催による「第十三回市民クリスマス(の夕べ)」が、熊本市市民会館ホールであった。熊本クリスチャン・コワイヤや九州女学院の合唱、熊本信愛女学院のペーシェントなどクリスマス祝賀気分を盛り上げた処で、カトリック作家矢代静一氏の「私の好きな聖人」の講演が締めくくった。満員の聴衆は

### 聖霊刷新運動祈りの集い

- 毎週の集會
- 水曜日午前10時～11時30分 笹丘カトリック教会
  - 金曜日午後7時～8時30分 笹丘カトリック教会
  - 金曜日午前10時30分～11時30分 光丘カトリック教会
  - 土曜日午後9時～10時 美野島カトリック教会

新年合同の集い

1月23日(日)午後2時 笹丘カトリック教会

旧年中のセミナーのお恵みを感じ、新年の豊かな成長を祈願するための合同の祈りの集いを行うものである。セミナー参加者全員の集いを期待している。新参者の出席も歓迎する。

### 医師の役割の自覚と親睦に カトリック医師会福岡支部

十月三十日、日本カトリック医師会福岡支部(村松正俊支部長)は、会員相互の親睦とカトリック医師の意識向上のため、福岡市の福新楼で会合をもった。

平田司教を迎えての会合には、会員二十一人が参加し、当面する医師の諸問題について意見を交換したり、親睦を温めたりして過し、支部会員七〇人を擁すると

はいえ、医師の立場上、堂に会することには困難が多いようだ。席上、ローマで催された世界医師会に参加した久留米市の聖マリア病院の井手一郎院長が、総会の模様を報告した。また、カトリック医師の役割の重大性について、とくに、医学と倫理に関する諸問題一例えは体外授精児、人工心臓や内臓移植、遺体干渉の及ぼす

信頼に誠意と技術でこたえる

## 株式会社 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵 三満  
福岡支店長 藤池 木内

福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23  
TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568

影響や結果などについて話し合った。目的のためには手段を選ばない方式がまかり通るとすれば、医学関係者の不祥事は絶たないであろう。

研究や実験の素材に人間が必要とされてはかなわない。すべては人間に奉仕するためでなければならぬ。そこには人命尊重が当然と輝いているであろうし、神の似姿である人間を信じ、認めてこそ可能になる。カトリック医師の責任はますます重大となる。



### 殉教者とは？

キリストへの忠実な証し  
として命をささげた者——

殉教者を意味するギリシア語は「殉教者」として命をささげた者——

語源的にいえば、歴史・法律・宗 教のいずれの場合を問はず、証人 をいけにえとしてささげること を意味する。しかし、キリスト教の 伝統のなかで確立された用法に従 えば、もっぱら血に下る証を立て た者だけをさす言葉である。この ような用法は、すでに新約書書の なかでも実証することができ、

(使二・二〇、黙二・三、六、 九、一七・六)、つまり殉教者とは、正確にいえば、イエス・キ リストを忠実に証明するために命 をささげた者の謂である。

イエス自身、殉教者の名を受け けるにもつとむをわしし神の証 と宣言している。

ルカは、イエスの受難のなか

### 金献の日 育成の祭司人邦

(S. 57. 12. 5)

82,510	16,176	50,000
13,500	20,000	12,977
52,441	7,845	78,220
8,320	9,135	11,300
20,000	11,843	12,100
33,000	4,000	3,000
36,760	1,500	18,000
10,000	2,100	9,000
9,000	23,807	16,743
72,151	19,344	20,100
31,000	107,554	38,000
4,840	38,835	9,000
40,000	73,456	7,000
47,340	10,330	21,940
13,065	22,000	36,000
4,050	46,320	1,500
143,510	8,420	50,000
26,000	32,020	
6,605	9,500	
9,300	15,000	
	6,000	
		計 1,571,041

町通丘楠崎丘新島山宮司塚免市米田野村郷郡馬  
名水ケ大箱笹西美茶高老吉志二久大吉今本小馬  
大浄光

に、以後殉教者の基準になるべき特徴を帯びる。それはイエスが、死の苦しみのさなかにありながらも神の恵みに慰められ力づけられたこと(ルカ三・四三)も、告げや侮辱を受けながらも沈黙し忍びたこと(ルカ三・二二、二九、三〇、三二、三三、三六、三九、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)も、

「多くの人を義とするために」(イサヤ五三・一二)苦しんで死ぬことになつていように、イエスは「多くの人の贖いの値として」(マタイ二〇・二八、マルコ一〇・四五)、自分の命をささげなければならぬのである。そのためにイエス自身、……しなればならぬ」といふ言ひ方を何回も繰り返している。この表現は、彼が神の証人として苦しむかつ死ぬことによつてはじめて、神の救いの計画は成就するものであつたことを指摘している(マタイ一六・二二、二六、五四、五六、マルコ八・三一、ルカ九・二二、

一七・二五、二二・三七、二四・七、二六、四四)。他方、かつての預言者たちもみな、新約のイエスやその弟子たちのように、迫害されたり殺されたりしている(マタイ五・一二、一三・三〇、三三、ルカ六・三、十一、四七、一五、一七、二二、二四、二六、二七、二八、二九、三〇、三二、三三、三六、三九、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)も、

イエスは、受難によつて自分を償ひのいけにえとしてささげたのであり、それは旧約のすべてのいけにえによつて替はる価値をもつている(ヘブレイ九・一二、一四)。信仰者は、「血を流すことなしに罪が赦されることはない」(九・二二)といふ、殉教の法則ともよぶべきものを発見する。また十字の受難にかゝ一致していたマリア(ヨハネ一九・二五、ルカ二・三五)が、後世、殉教者の聖母とよばれるようになる経緯も理解されるであろう。

教会は、イエスの光栄ある殉教によつて創設される。「私が地上から上げられようとき、すべての人を自分のもとに引き寄せるであらう」(ヨハネ二・二三)と、

イエスは存世中約束しているが、ヨハネ二・二八、一〇、すいまや「キリストの体」なる教会が、人類の救いのために神に血の証を立てるよう要求されている。すでに旧約時代にも、とりわけマカバイ時代には多くの殉教者が輩出して(IIマカ六・七)。教会は時代における殉教は、イエス自身に啓示した新しい意味を帯びることになる。すなわち殉教とはキリストの完全な模倣であり、キリストの証と救いの業への最上の参与なのである。「僕は主人にまきまきするものではない。私は迫害した者と同じようにあなたがたをも迫害するであらう」(ヨハネ一五・二〇)とイエスが言ったのは、そのためである。彼は「三人の愛弟子に自分と同じような苦難を受けようことを告知する一方」(マタイ二〇・二三、マルコ一〇・三三)より

### 聖しこの夜を膚身に感じて 大成の八代市民クリスマス

第二回八代市民クリスマスは、市内キリスト教連合会主催のもとに、十二月二十二日午後六時半から、西松江城町の市厚生会館大ホールで開かれた。

新旧信者の合唱団「ユスベル・シンガーズ」の聖歌、金葉の力量によりエキゾチックな協力を高めて評価してよい)、映画「生命それは愛」ノベル平和賞に輝くマザーテレサの活動を伝える感動的シーンの数々、無欲の人間愛、人間のなかに神の姿を見るマザーテレサの信仰心の発露には、多くの人驚きと感銘が深まつて行ったことであらう。聖書にちなみクリスマスらしい者であることを認めよう。

誕生の話しの後、八代少年少女合唱団のクリスマスソング六曲「もぎとぞりて」などが披露されて、禮堂の拍手を浴びた。入場整理券は高校生以上五〇円、中学生以下三〇円となつて、五百人の入場者があつた。益金のつぎに終了した、益金は蔵末助け合ひに寄付した。

こととして「二回目を迎えた市民クリスマスであったが、回を追つたに人場者も増し、クリスマスへの市民の関心の高まりを示してきたと考えてよいではないか。神がよき愛される人間は、すばらしい者であることを認めよう。

総合建設業

## 八千代建設株式会社

取締役社長 田中 清  
取締役副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

## (株)メガネの正視堂

代表者 フォンシスコザビエル 臼井芳数

行橋市駅前本店 電話 2-0646  
駅前5秒店 電話 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
ダイエー城野店3階 電話 922-5637



推進しよう信徒の福音宣教

追立 季治

神の豊かな恵みの年、聖年を迎え、また教区の五七年のレジョン「宣教」は、私たち信徒に全く時宣にかなった奉仕や働きを動機づけてくれるチャレンジだと思いま

年未、街頭に立つて募金し人々のお心をいただき「ありがとうございませう」と感謝し、信仰者の喜びを味わう事が出来ました。行橋の街では三教会の信徒、ボーイ、ガール・スカウト総勢百名余が参

愛の街頭募金 (昭和57年度)

Table with columns: 収入 (募金額), 支出 (配分先), 金額. Includes sub-sections for 福岡地区 and 熊本地区.

移動信徒についてのお願

二月三日、四日まで、長崎カトリックセンターにおいて、国内移動信徒担当者の全国会議が、つづいて五日、二三日まで長崎教区の移動信徒の集いがあります。一え

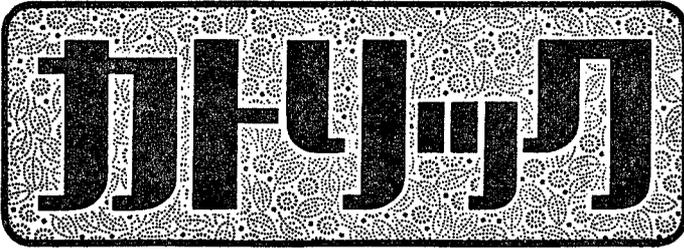
「この仕事」つまり「国内移動信徒」に従事しております。つまり日本国内のカトリック信者が、自分の教区から他の教区に移り住む

協の支援を得て是非とも「宣教の年」にふさわしく、実りのある活動を展開したい。また、信徒が宣教奉仕に目ざめ活動する援けとして、CLCでは、一月、八月に

信頼に誠意と技術でこたえる 株式会社 藤木工務店. 取締役社長 藤木 鐵 三満. 福岡支店長 池内. 福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他 松尾産商株式会社 社長 松尾光敏 北九州市若松区藤ノ木1-4-23 TEL 771-3657

吉川病院 院長 吉川 東陽 福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568



平田司教認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 兼人 山田成章  
 編集 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

祈禱の使徒会  
 (一般) 四旬節の精神  
 (布教) 中国における宣教

### 聖年と宣教

福岡教区長 司教 平田 三郎

一九八三年の四旬節を迎えるにあたり、福岡教区長平田三郎司教は、教区民に恒例の司教教書を送った。世の贖いの完成一九五〇年を記念する特別聖年を念頭に置いて、聖書を通して贖いと和解を説明し、その宣教者たれと諭す。

今年、主キリストによって世一人間の救いとは何であり、どの贖いが成しとげられて一九五〇年にあるかを理解し、体験して、靈的に新たにされ、贖いによる神とウロ二世は、去る一月六日の御公現の祝日に『贖い主ノ扉を開け』の教書を公布して今年を特別聖年と定めました。この聖年の門は、来たる三月二十五日、神のこぼれが人となって聖母の胎内に宿られたお告げの祝日に開かれ、来年の四月二十二日、贖い完成の復活の祝日に閉じられると宣言されました。

贖いの大業が完成してすでに二十世紀、やがて三世紀に入ろうとしている今日、現代社会はますます神に心を閉ざし、自ら閉鎖症にかかり、神の声にも人の声にも耳を傾けず、明日の不安におびえながら孤独の生活を送っています。この状態から解放されるため、教皇さまは人々が聖年を通して、

イスラエルのエジプトからの脱出、バビロンでの囚われからの解放などは、救いに関する旧約思想の中心をなすものです。エジプト

### 二月の聖体礼拝当番教会

- 三月 六日 荒尾
- 三月 十三日 人吉
- 三月 二十日 本渡
- 三月 二十七日 健軍

### 二月命日の司祭

- ▼フランソワ・マリ・ウエイヨ神父(パリ外国宣教会)一九七三年三月十二日(元)唐津教会主任
- ▼ルイ・マリ・ペリボ神父(ドミニコ会)一九七七年三月十六日(元)須崎教会主任
- ▼マキシム・ボネ神父(パリ外国宣教会)一九五九年三月十九日(元)新田原教会主任
- ▼ジェームス・ドイル神父(コロンバン宣教会)一九八二年三月二十六日(元)荒尾教会主任

「神のもとには慈しみがあがり、豊かた贖いがある。神はみすからイスラエルをあらゆる悪から贖って下さる」(詩編130・7・8)との詩編を唱えながらワシントン待ちました。

「神の不忠の故に祖国を失い、清め、回心のために異国バビロンに流されたイスラエルは、バビロンの征服者、ペルシア王キロスによって解放され、故郷に帰ることができました。キロスは来るべき救い主の姿を示しています。さて、旧約の神の民は、エジプトから贖われたもの、荒野で、天からの食物、マンナについて、つぶやき、美食を求めて、再び奴隷の国、死の国エジプトに帰るつもの誘いにおち入ったり、自分の贖い主を忘れて豊穡の神、金の小羊を拝んだりしました。人間の心に集く根深い罪からの救いが待たれました。

バビロンから解放されたイスラエルは、預言者たちの警告にもか

### 微光

「高離婚時代」もいよいよそろそろ。国内では、三分十一秒に一組が離婚している(厚生省五十七年統計)その余波で、片親家庭が一五五万世帯となり、前年比で四・三%の増加ぶりである。経済不況に反比例して、異常な家庭の高離婚率は困ったものだ。さて、深刻なのは、高年齢者の離婚の激増といわれる。そこから父子家庭は雪ダルマ式に増え、九万八千世帯の出現をみる。統計の数字は、恐ろしいほどに世相を伝える。▼結婚とは、男女ふたりの人間がすべてを与え合う聖なる絆だ。でも、婚姻の創設者である神が、夫婦、子ども、社会の善のために与えたもので、人間の勝手にはなさない。

参照 聖代世界憲章四十八番 結婚を二人だけの自由契約と判断しているところに、ふたりの基盤のゆるさが現れていないだろうか。二人の同意で結ばれた以上、当事者が解約することにも不合理性はないと考えるようだ。結婚は、生涯をかけた挑戦……配偶者の選択に当たっては、私の好きな人から私が終生がまんできる人に発想の転換をしてみてもいいかも共通するものよりも異なる部分が多を持つふたりが、多様性の一致を目指して進む生活である。少し乱暴かもしれないが、結婚生活は耐久レースに見えくる。しかもふたりで進んで行かざるべからず、賞を受取るために、歯をくいしばって走るべきコースを一向に走る根性こそ、今日の課題である。

「神の不忠の故に祖国を失い、清め、回心のために異国バビロンに流されたイスラエルは、バビロンの征服者、ペルシア王キロスによって解放され、故郷に帰ることができました。キロスは来るべき救い主の姿を示しています。さて、旧約の神の民は、エジプトから贖われたもの、荒野で、天からの食物、マンナについて、つぶやき、美食を求めて、再び奴隷の国、死の国エジプトに帰るつもの誘いにおち入ったり、自分の贖い主を忘れて豊穡の神、金の小羊を拝んだりしました。人間の心に集く根深い罪からの救いが待たれました。

バビロンから解放されたイスラエルは、預言者たちの警告にもか

### 新約

永い間待った贖い主は、父のものとから遣われ、兄弟たちのうちに住まわれませんでした。ザカリヤは自分の子で、救い主の先駆者であるヨハネの誕生に際して、歌いました「主はその民を訪れて贖い、私たちにのために力強き救い主を、しもベツレヘムの子孫から立てられた」(ルカ1・68・69) 洗礼者ヨハネはおいでになった救い主を指して「見よ、世の罪を取り除く神の小羊を」(ヨハネ1・29)と云って世に紹介しました。このイエズスは、イスラエルが、エジプトから

**シオタ** 小まわりのきくアフターサービス。

コンピュータと複写機・事務機器の専社  
 (有) **シオタ事務機**  
 福岡市南区大楠2丁目13番21号  
 〒815 TEL (092) 521-8266 (代)

代表取締役 塩田 五郎  
 取締役 塩田 忠良

営業品目  
 オフィスコンピューター・パーソナルコンピューター (マイコン)・POSTERミナル・ワードプロセッサ・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフィス家具、問仕切

**熊本石材株式会社**

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
 52-8622



# 福岡教区教勢

(1982年1月1日~12月31日)

教区名	洗礼			求道者	世帯数	婚姻		信実	徒数	名簿	上徒	
	子供	大人	臨終			信徒	混宗					
福岡地区	山崎市	9	3	0	100	1	3	439	460			
	名目	10	22	0	257	4	29	1,512	1,515			
	二箱	7	3	0	70	0	1	308	333			
	笹ヶ	4	11	0	31	0	5	208	221			
	光ヶ	13	4	0	129	2	13	502	535			
	本ヶ	17	10	0	303	1	5	738	747			
	今ヶ	11	3	1	113	2	5	630	658			
	浄水	0	3	1	226	1	11	1,197	1,197			
	古留	3	1	0	78	1	13	178	181			
	馬渡	8	4	0	147	0	0	455	455			
	美野	21	14	0	320	3	11	785	1,177			
	西島	2	1	0	86	2	0	463	470			
	小島	6	1	0	62	0	0	163	271			
	大新	2	0	0	158	0	1	667	922			
老高	2	0	0	76	1	0	253	275				
吉宮	2	2	1	33	0	0	129	217				
野塚	1	6	3	64	0	4	240	279				
計	134	95	5	260	2,713	25	120	10,374	11,676			
北九州地区	王塚	2	6	0	90	1	2	243	243			
	飯倉	3	0	0	45	0	1	232	232			
	黒崎	30	40	0	937	4	27	2,352	2,480			
	水崎	12	6	0	410	3	12	1,193	1,257			
	門司	3	2	0	169	1	4	530	550			
	直方	0	2	0	181	0	4	434	439			
	新田	3	3	2	67	2	0	190	191			
	戸畑	4	1	2	35	0	0	139	139			
	若湯	24	3	25	410	6	6	1,636	1,671			
	行橋	2	0	0	53	0	2	177	201			
	計	8	11	0	128	3	3	307	319			
	松川	18	10	0	276	0	6	876	1,348			
	橋	7	1	0	105	0	1	374	374			
	計	10	4	0	146	1	3	553	623			
計	133	89	29	249	3,326	23	75	10,150	11,042			
佐賀地区	伊津	3	3	0	70	0	1	165	186			
	唐島	9	6	0	141	1	2	391	398			
	佐賀	1	0	0	35	0	2	52	85			
	武雄	13	13	22	283	2	3	723	729			
	多良	3	2	0	44	0	1	94	135			
	鳥飼	0	1	0	35	0	0	104	108			
	呼子	1	2	0	40	0	2	213	259			
	計	7	0	0	81	3	3	455	455			
	計	37	27	22	729	6	14	2,197	2,355			
	熊本地区	荒尾	0	2	0	46	0	2	88	88		
		吉本	1	4	1	49	0	2	233	233		
		健人	0	1	0	101	0	0	179	179		
		本渡	0	7	0	168	4	5	426	426		
		池田	1	3	1	47	0	0	109	115		
山崎		1	4	1	64	0	2	131	177			
江津		5	2	1	141	0	4	322	368			
崎名		1	3	0	124	1	3	406	460			
取代		5	2	0	105	0	0	314	314			
志		5	2	4	138	0	3	415	421			
志		2	1	0	33	0	0	100	104			
手		7	22	4	490	0	10	1,000	1,088			
八合		3	2	1	86	0	0	203	267			
計		0	0	0	110	0	3	190	195			
計	40	55	13	167	1,702	5	34	4,116	4,435			
合計	344	266	69	709	8,470	59	243	26,837	29,508			

(注) 司祭・修道士・修道士・神学生は含まれていない。

## 信者総数三〇、二〇二人

### 神学生は漸増の傾向に

#### 居所不明が二、六七一人

一九八二年十二月三十一日現在の福岡教区教勢を見驚いたことは、依然として居所不明者が多いことであつた。居所不明は、信徒名簿に在籍しているが消息不明である信徒を指している。教区全体で、二、六七一人に及ぶ。司祭の司牧下にならぬままである。

一 信者総数(司祭、修道士、神学生、居所不明を含む)は三〇、二〇二人(大人九五五、子供四〇〇)で、昨年比して五・八%になるが、子供より大人の受洗者増の計算になる。受洗者は六一者が多いのは熊本地区だけ。転入〇人、内訳は子供三四四人、大人は一、二四五人で、転出一、二三二六六人である。地区別に分ける一人と大差はない。婚姻については、福岡三九八(大人九五五、子供一、九七九)に過ぎず、全国的な現代教会(一九八一年、子供一、三三三)、佐賀六の傾向を反映している。信仰家庭九八人、子供一、三三三。

の擧り起すのにも、信徒婚姻の開拓に一段の努力が必要ではないだろうか。

二 聖職者および神学生  
司祭二八人、邦人教区司祭三三、邦人修道司祭二、外人司祭五九計一〇八人の司祭が数えられる。計一〇八人の司祭が数えられる。一線、働いて司祭の数に十分ではない。大神学生は、福岡・スルビス大神学院在籍生五〇人中、教区神学生八人、福岡小神学校生四四人中、二三人が教区小神学生である。毎年、途絶することなく大・小神学生が微増していることは喜ばしい限りで、正に神に感謝の一語に尽きる。

三 修道士  
男子修道士については、邦人二九人、外人五計三四人。修道士は、邦人二四三九、外人二、志願者六三計五三二人の大きな戦力である。さとはいへ、高齢化の波が、司祭にも修道者にも遠慮なく押し寄せている現実であらう。

四 伝道師  
司祭が近づき難い社会のある部

## 総会準備のための一日研修会

### 「祈りの週間」の趣旨説明

二月二十一日、日本女子修道会総長菅区長主催による「一日研修会」が、司教館新館ホールで開催された。福岡地区の修道会から四十三人のシスターが参加し、超修道会的な連帯感のもとに有意義な一日研修を終了した。

午前七時三十分から始まった研修会では、今年の総会テーマ「私管区長は、日本の女子修道会を

分にも、司祭の有力な協力者として活動するのが伝道師である。さらに、要理指導や祈りの集会、みこほの祭儀にも協力を要請されることが起り得る。男子伝道師五女子四五人になっている。

### 会合と催し

☆立田司教  
3月5日 新田原病院竣工式  
6日 クルソリオ会合  
21日 司祭叙任式(健康)  
24日 宮尾幼稚園落成式  
27日 聖年開始ミサ(大名)  
28日 サン・モル修道院落成式  
31日 聖香油祝聖ミサ、金祝銀祝司祭の祝賀会

☆福岡黙想の家  
3月6日 若い夫婦の黙想会。  
12月13日 福岡聖学院小生の練成会  
レジオ・マリエ  
2219、23日 西南大学教師グループの集い

Cnustom Tailor

## 永洋服店

福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

## 祭壇・洗礼盤他

石のバイオニア

### 高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

素材 { 大御そ 理影の 石石他

# 信徒の靈的指導者 養成の実施情況 中野尚夫

私は、自分自身を含むすべての信徒の靈的養成で教会に社会に奉仕する信徒をつくるために、CLCのメンバーになっていきます。そのCLCは、一人ひとりが仲間と一緒にコミュニケーションをとり、日々の靈操と年何回かの泊り込みの靈操の中で、各自独特の個性を活かした生活を神のうちに照らし、聖靈の導きによって自分で絶えず生活態度、生活指針を修正しながら、キリストの弟子として、キリストに従う信徒となることを目指しています。

この場合、各自がその心で神のこゝろを聞き、聞き分けるので、靈的指導者は、自分の考え、自分の解釈、自分の知識、自分の体験などを靈的指導者に教えるのではなく、被指導者が黙想を通して神のこゝろを聞き、そのこゝろを聞き、よく聞き、よく聞き、よく聞きながら助けるだけです。被指導者の心の動きを一緒に味わいながら助けるだけです。勢い個人指導方式となります。ですから、例えば泊り込みの靈操の場合では、一人の靈的指導者は四人か五人の被指導者しか受け持つことが出来ません。そこで、被

## 神学講座 (昭和58年第1学期)

- 一、講義科目、担当講師
  - 4月12日 典礼の構造 ラフランド神父
  - 19日 " " ラフランド神父
  - 26日 典礼の神秘と印し ラフランド神父
  - 5月3日 " " ラフランド神父
  - 10日 ヨハネ聖福音書の読み方(続き) (10章23節以下) イエル神父
- 二、講義期間
  - 4月12日より6月28日までの毎週火曜日とする。
- 三、講義会場、時間
  - 福岡市中央区浄水通39 司教館新館ホール
  - 午後6時から8時10分まで
- 四、聴講料
  - 6,000円(一回500円)当日会場にて受付け。

指導者の数に応じて、数人の靈的指導者が一人の主宰者の下にチームをつくらせて指導します。

この靈的指導者のチームと言つ考へ方は、靈的指導者の養成にも大役に立ちます。

CLC日本連盟は、その中心的指導者養成コースの一つとして、年一回東京で、二泊三日のワークショップを開いています。司祭、シスター、信徒を混えた三十人位の集まりで、新規加入の人を少しづつありますが、大体毎回集まる人は増えず、全国のコミュニケーションで或る程度の体験を積んだ人達が集まって研鑽しています。

三十人と言へば、こんなスキャンジ的な集まりでは集まると時には一寸した人数の感じがしますが、散会して全国の各白のポジションに帰って見ると大抵一人はぼっちの姿です。そして、ここでは、実際に靈的指導をしなければなりません。頼りない感じがします。

その時に、靈的指導者チームという考え方が役に立ちます。今迄靈的指導の経験のない人(信徒は皆それです)が、或る程度習熟したと判定されると、最初に一人か二人かといつづつ、被指導者を持つことになりまます。ただし、この新米の靈的指導者は、被指導者と面接の記録を主宰する親指導者のところへ送って、指導を受けまます。こうして新しい靈的指導者が養成され、信徒の中からもぼちぼち靈的指導者が生れつゝある現況です。

む親指導者とチームを組む場合よりも、泊り込み靈操の靈的指導者チームに加えていただいて少数の被指導者を受け持つことにすれば、直接親指導者の膝下で養成を受けることが出来ます。この場合、初めのうちは靈操に参加しながら、傍の靈的指導者になる養成を受けることも出来ます。

私の体験では、ワークショップに三回程行ったが、介護の不安に怯る老人、不良化した子供の心配、サラ金地獄の苦悶、離婚の相談などに対するケースワーカーの仕事が巧くやれるようになりました。ケースワーカーと靈的指導者の区別は、キリストと共に働くか否かにかゝることで理論的には簡単なのですが、体験を通して実感として知り実際に靈的指導が出来ると自分か、思つては、大分長い期間かかるとは、大分老人の私でさえもつかやれることですから、言はずもやうと思つては、誰にでも出来ることだと思つては、

また、九州でも福岡教区でも、こんな靈的指導者養成の継続のコースが始められるのは、そう遠くないことではないかと思つていま

と手を取り合い励まし合つて、靈れてはいる。また、二月十三日には(靈は聖靈の靈と神とのつながり、操は操の操、白く訓練)に基づいて生活の見直し、生活の中での祈りを続けましよう。靈操への参加とバランスのとれた生活、仲間と共にする真面目な初りの生活の出来る人は、誰でも靈的指導者養成コースへ参加できます。

詳しいことは、左記の者へ問い合せて下さい。

- (八二四)行橋市福富二〇道淳孝治
- (八六〇)熊本市島崎五六一九 高木慶治
- (八六二)熊本市国府二六一 中野尚夫 (健康教会信徒)
- 一〇二二

☆福岡地区信徒協代表者会議が、二月二十日午後一時半から司教館新館で、年間行事を協議し、リリーター養成の研修会を決めた。

☆二月六日午後一時から、教区信徒協役員の新年会が福岡市内の和食の店「稚加菜」で行われ、十一人が参加して新年度の決意を表明した。また、指導司祭山田成章師も聖年にかける信徒の奮起を促す挨拶を述べた。

☆二月十日、平田司教は、長崎市三ツ山の老人ホームに静養中の深掘仙石衛門司教の見舞をした。深掘司教は、脳血栓症で病臥の身であるが、高齢のため容体が憂慮さ

信頼に誠意と技術でこたえる

## 株式会社 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵三 満  
福岡支店長 藤池 木内

福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電 (092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23  
TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568

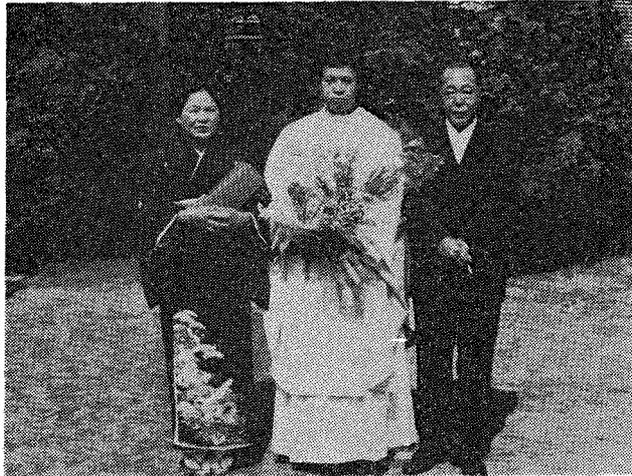
# カトリック

平田 司教 認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 発行兼人 山田 成章  
 編集人  
 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

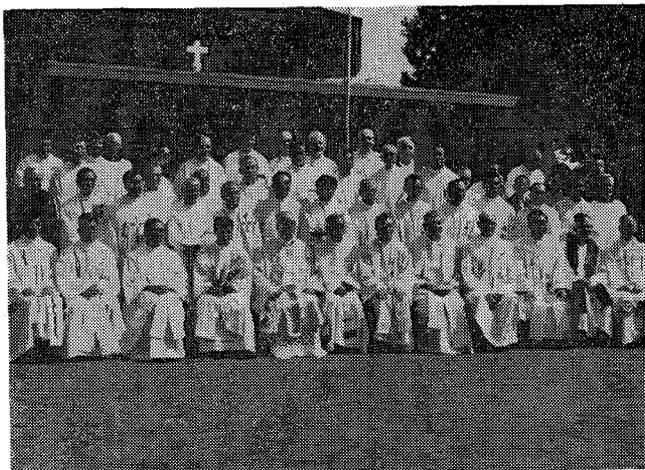
祈禱の使徒会  
 (一般) 富と労働の均衡  
 (布教) 福音宣教に対する福音の  
 責任

## 春分の日射しをうけた健軍で 崎津教会出身二人目の司祭 下町豊重師の司祭叙階の喜び

午前中の小雨模様の天気がつづき、  
 のように、初夏を思わせる暖かい  
 日射しが照りつける三月二十一日  
 の正午、天草・崎津教会出身の下  
 町豊重師の司祭叙階式が、健軍教  
 会で盛大に行われた。  
 八百人の会衆で立錫の余地がな  
 い会場に、「うるわしい神の家」  
 の賛美歌の調べに誘われて、司祭  
 の入堂がはじまる。五十五人の  
 司祭団に続いて、司祭候補下町師  
 と平田司教が入場の挿尾を飾る。  
 みことばの祭儀のあと、平田司  
 教は、二十分に及ぶ説教の中で、  
 過越の神秘の継承者である司祭の  
 重大な任務について力説した。  
 「司祭に叙階される方は、前に  
 出くささい」の呼び出しで、司  
 教の前に進み出た下町師に、一斉  
 に会場の視線が注がれる。司祭適  
 格の確認後、長々と司教の訓話が  
 与えられる。この重大な、そして  
 神聖な司祭職を受諾し、司教への  
 従順と尊敬を約束した下町師は、  
 床に平伏して諸聖人とともに、神  
 に叙階の恵みを祈願する。  
 主司教と臨席の司祭団の按手  
 が、つぎつぎと受階者の頭上に置



下町新司祭とご両親



叙階式参加の司祭たち

かれ、司教の聖別の祈りによって  
 新司祭が誕生した。司祭の証しと  
 して、司祭用祭服を着け、新司祭  
 の両手には聖香油が注がれた。  
 一時間四十分の盛儀が済んで、  
 祝賀会場はマリスト学園に移る。  
 午後二時三十分から始まった祝賀  
 会は、七百人の参会者で熱気に満  
 ち、新司祭の門出を祝った。  
 イクナチオ下町豊重師は、昭和  
 二十九年九月、熊本県天草郡河浦  
 町崎津に生まれる。地元中学校  
 を終えてから、社会人として横浜  
 市内で三年間飯金塗装業を経験し  
 ながら、定時制高校に通う。昭和  
 四十八年四月、福岡小神学校に在  
 籍して、泰星高校二年に編入。卒  
 業後、昭和五十年四月、福岡サン  
 ・スルピス大神学院へ入学、本年

三月卒業と同時に司祭に叙階され  
 た。崎津教会は、約七十年前、大  
 崎七重師(長崎教区司祭・故人)  
 を出しているが、司祭叙階につい  
 ては入目に並な。

### (司祭異動)

四月六日付  
 ☆門司教会主任 カイヤル師  
 (司教館) ☆福岡へ、ペリヨン師  
 (門司教会主任)  
 ☆大名町教会助任 松井忠之師  
 (福岡小神学校)  
 ☆福岡小神学校 下町豊重師(新  
 司祭)

### 教区人事

三月二十四日付  
 ☆兼務教区書記長 山田成章師  
 (教区総代理)

### 微光

三月二十五日、聖年  
 開始の扉が八年ぶりに  
 開かれた。来年の四月  
 二十一日まで、約一年一カ月の聖  
 年行事が展開される。慣例上、二十  
 五年周期で開催される聖年だが、  
 教主の贖いのみ業達成一九五〇年  
 記念に当たる本年が、特別聖年に  
 指定された。前回の聖年は、一九  
 七五年であった。キリストを信じ  
 る神の民の和解と償いの実践によ  
 つて、生活の刷新が奥深く浸透す  
 ることにならなければならない。聖年の実  
 りある成功を祈りたい。▼特別聖年  
 の布告を与えたヨハネ・パウロ二  
 世教皇の心中には、いろいろの思  
 考が去来したに違いない。正義と  
 平和と愛が重大な危機に曝されて  
 いる世界の現状下に、苦しむ神の  
 民の嘆きをじっくりと心に受け止  
 めたのではあるまいか。聖年に寄  
 せる教皇の意向は「贖いの業がす  
 べての民に知られ、キリストを信  
 じる者が、自由また公に自分の信  
 仰を守っているように」と祈り  
 を求めている。厳しい政教対立の  
 くにぐにが案じられる▼贖いの特  
 別聖年は、当然のこと、神の民に  
 ふさわしい生活の刷新を指向して  
 いる。家庭の崩壊の根底に、信仰  
 の破産を見逃すことはできない。  
 逆に、健全な信仰が根付いている  
 限り、平和と愛の家庭の喜びも成  
 長していく。神を恐れず生活は、  
 家庭の健全化のための揺るぎない知  
 恵である。罪を罪とも恐れな  
 い心の暗雲を晴らすのが、度重なる  
 「ゆるしの秘跡」の実行ではない  
 だろうか。重荷を負った人は、こ  
 の秘跡に遠慮してはならない。

SIOTA



## 小まわりのきくアフターサービス。

— 営業品目 —  
 オフィスコンピューター・パーソナルコ  
 ンピューター(マイコン)・POSター  
 ミナル・ワードプロセッサ・ファクシ  
 ミリ・複写機・印刷機・電話機・一般  
 事務機器・オフィス家具・間仕切

コンピューターと複写機・事務機器の商社  
 (有) **シオタ事務機**  
 福岡市南区大楠2丁目13番21号  
 〒815 TEL (092) 521-8266 (代)  
 代表取締役 塩田 五郎  
 取締役営業部長 塩吉 良忠

## 熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
52-8622

豊かに愛し貧しく生きる  
宣教師の鑑ドルエ神父逝く



ないだらうか。  
故ドルエ神父は、一八八七年八月一日、フランスのメヌ・エ・ロワール県ラ・シャペル・ドゥ・ジュネ村に生まれた。コンブレの高校からアンゼの神学校へ、二十一歳のときパリ外国宣教会に入り、一九一〇年九月司祭に叙階。二十三歳であった。青春の真盛りを宣教師の情熱で燃やし、間もなく長崎に向かつて船旅を始めることになる。一九二一年一月長崎に到着してから、日本語習得のために一年半長崎に滞在した。一九二二年九月から一九二九年七月までの七年間、長崎に戻り、神学校教師として活躍した。二年間は、校長として采配を振った。

パリ外国宣教会北九州本部で余生を過ごしていたランソフ・ドルエ神父が、二月二十六日午後四時二十五分、老衰のため北九州市戸畑区の安田整形外科医院で瘧疾した。行年九十五歳。  
葬儀ならびに告別式は、二十八日午後一時から、小倉北区倉口の小倉カトリック教会でしめやかに行われた。故人の生前の功績を物語るかのように、平田福岡、平山大分、深堀高松、松永長崎の四司教や四十五人の司祭、数百人の会葬者で堂内は埋めつくされた。主司式者平田司教は、ミサ中ドルエ神父の一生を追憶し、偉大な宣教師を失ったと語った。特に、来日以来七十二年間、一度も帰国しなかったことを言及したとき、新鮮な感動を覚えた。ドルエ神父の心には、日本こそ故郷であり、日本人を真に愛してくれたのでは

四月の聖体礼拝当番教会

- 四月三日 大名町、菊池
- 四月十日 浄水通、水俣
- 四月十七日 光丘、帯山
- 四月二十四日 西新、大江

神学校後援会費  
(昭和57年度)

1,421,050	新田原	300,000
165,300	橋取尾	66,200
47,500	吉渡軍山	380,000
64,200	本健帯水	36,000
176,990	人本健帯水	169,200
200,000	大崎島	42,000
100,000	玉菊八馬	100,150
91,300	伊方唐	20,000
420,000	津崎名池	97,800
69,370	島里津	60,000
62,100	賀雄久栖	50,000
695,950	武多鳥呼	180,000
100,000	合	37,760
130,000		9,300
50,000		57,280
500,000		21,500
100,000		100,000
721,700		117,304
58,970		7,000
48,600		137,400
200,000		13,350
77,400		10,000
114,250		61,400
50,000		45,000
77,800		
10,000		
	計	7,871,124

た。今日「聖小崎育児園」としてその事業は継承されている。一九五〇年から二年間は小倉教会、一九五二年から八王寺教会のそれぞれ主任として働いた。

引退後のドルエ神父は、静かな祈りの生活の明け暮れであった。多くの羊を心から愛したが、自分の生活は清貧そのものだったらしい。茶臼つゝもあつた師の一面を伝えているレコードがある。ある夜半、就寝中の同僚司祭は、爆弾が落ちたという叫びに飛び起きた。そしてドルエ神父と二人で、司祭館内外を調べて歩いたが何の被害も見えなかった。翌朝になつて、まじめ顔のドルエ神父は湯タンボを同僚に見せながら、昨夜の爆弾はこれだといって笑わせたといい、何のことかはない、実はドルエ神父の使つていた湯タンボがベツトから落ちた筈で、同僚をからかった一席であつた。

会合と催し

☆平田司教  
4月3日 復活祭ミサ(大名町)  
5日 司祭評・常任委員会  
10~15日 駐日ハチカン大使の教区公式訪問  
10日 西新教会別荘式  
21日 小郡カトリック幼稚園落成式  
29日 大櫛教会二十五周年祭  
☆福岡黙想の家  
4月4~5日 福岡養老園教師の研修会  
6~7日 笹丘カトリック幼稚園の研修会  
16~17日 戸畑明治学園高校の練成会  
18~22日 ミラノ宣教会の黙想  
イェスズ会 修道院移転  
三月二十二日、養老園の教師陣強化に伴いイェスズ会員の増加により、中央区浄水通三八の修道院を左記の所に移転した。  
中央区校坂三十一一〇  
中作大観ハイイツフ  
カトリックイェスズ会  
福岡レヂデンス  
TEL 七五一二四六五

香典返し

☆金一封  
福岡小神学校へ  
パリ外国宣教会北九州地区殿

四月命日の司祭

▼ランソフ・サビエル・プレング神父(パリ外国宣教会)一九四六年四月五日元佐賀教会在任  
▼ヘンリ・レウトル神父(パリ外国宣教会)一九四四年四月十日重傷性を再認識したい。

ご会葬御礼

元パリ外国宣教会  
北九州地区長  
故ランソフ・ドルエ神父の葬儀に際しましては、多用中のごつわさわりご会葬賜りまことに有難く厚く御礼申し上げます。  
昭和五十八年四月一日  
宗教法人 カトリック福岡司教区  
教区長司教 平田 三郎  
パリ外国宣教会北九州地区  
地区長 アンドレ・ベルトラン

第22回クルシリヨ

- 1 日時 4月30日午後7時~ 5月3日夕方まで
- 2 場所 福岡黙想の家
- 3 参加費 8,000円(宿泊、食事、用品代)
- 4 申し込み先 教区クルシリヨ事務局  
〒818 筑紫野市大字 二丁目256-3  
米 湊 潔

TEL (092)924-7239  
(注)申し込み締め切り 4月20日まで

広報の日近づく

五日元新田原教会主任  
日本カトリック教会では、主の昇天祭の前の主日を広報の日と設定している。ことしは五月八日に当たる。そのテーマは「マスマデアイア平和の促進」である。世界コミュニケーションの年である。本年、平和実現のための広報活動の重要性を再認識したい。

総合建設業  
**八千代建設株式会社**

取締役 社長 田中 清  
取締役 副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

**(株)メガネの正視堂**

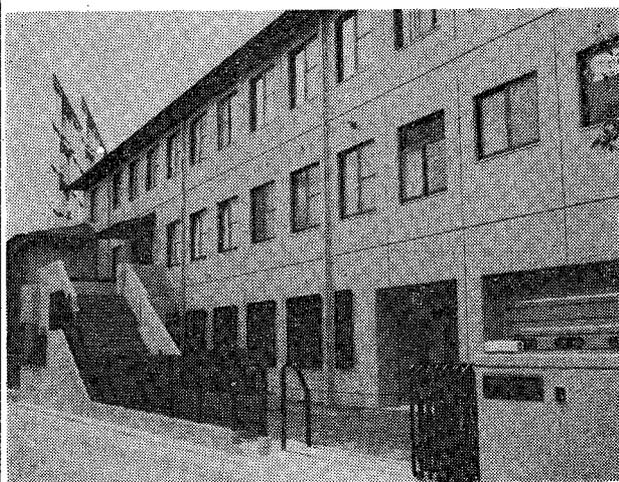
代表者 フランシスコザビエル 臼井芳数

行橋市駅通り本店 電話 2-0646  
" 駅前5秒店 電話 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
" ダイエー城野店3階 電話 922-5637

# 祈り刷新交わりの家として サンモール会福岡修道院落成

小春日の三月二十八日(月)一よつこの根拠となる聖書のお諭新築移転したサンモール会福岡修道院(院長・シスター加藤洋の)が竣工式が行われた。

午前十一時、百人近々の参加者が見守る中で、平田福岡司教が建物の内外を視察した。「よつこびにこころをはずませ……」の聖歌の調べに乗って、祝別式は進む。みよとはの祭儀に入り、山上の垂訓(マタイ五・一・一六)が朗読される。建物の祝福の祈りにあつた部分(こ)に健康、貞潔、罪に対する勝利、善徳、謙遜、柔和を規律、神への感謝が見いだされる。優先的に考へた在り方を教えてい



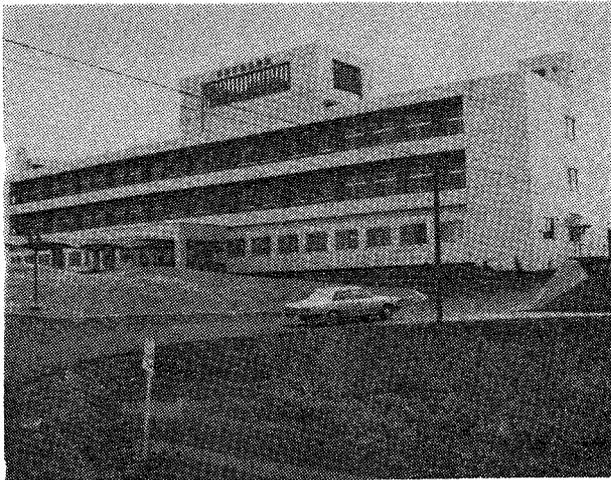
新築落成のサンモール会福岡修道院

ます。奉仕する教会は、奉仕する修道院と一脈相通するものです。願わくばこの精神を自覚した新修道院が、地域社会に融けこみ、平和・繁栄・友好の力強いとりでになりまふこと。主の祈り、愛の賛歌で祝別式は終わった。

田紀久子の注目すべき挨拶があった。「学校教育の拡充に応じて従来」の修道院を撤退したが、新修道院は、祈りによる使命の達成、会員相互の教育、地域社会の人たちとの交流の場として利用したい」と現代に開かれた修道院の新しい在り方を熱く語りつた。

## バチカン大使の教区公式訪問 各地区視察の日程一覧

- 四月十日(日) 福岡地区— 西時三十分、司教館(会食、対話) 新十三時、十六時、大神学院十六時三十分、十九時(夕食)、カール九十九時五十分、三十分、司教館に宿泊
- 四月十一日(月) 北九州— 司教館出発九時三十分、聖ヨゼフの園(黒崎) 十二時、明治学園十二時三十分、五十分、八王寺本部(会食、対話) 十三時、十四時三十分、新田原聖母病院(修道院で夕食) 十七時、十九時、司教館着 二十時三十分
- 四月十二日(火) 福岡地区— 轉業学園十時、四十分、泰星学園 十一時、十四時、司教館(昼食) 十二時、十三時四十五分、大石町 十四時、十五分、老司(海星女子学院) 十五時、十六時、小神十七時三十分、十三時
- 三階建の新修道院は、一階が主に外来客のために、二階が高齢のシスターの居室、三階が一般シスターの個室がなっている。中でも、二階の礼拝堂の他に三階に祈りの部屋を設けているのは、神とともに歩く修道院の姿勢を強く打ち出したものといえよう。緑林を背景にしたエッジ色の建物は、遠慮勝ちの外装ながらも落ち着きと重厚味を感じさせる。
- 福岡司教館の東隣りに位置する新修道院は、中央区浄水通四一五となつて司教館と同じ町内会に入り、守護神的存在である。常にシスターの祈りが頼りとなる。



竣工式を迎えた新田原聖母病院

## 新装なった新田原聖母病院 病める人の期待に改築成る

三月五日、午前十一時から福岡入たちの安らいた住家となるに教区長平田司教の司式による、新は、充分にその用を果たせない施田原聖母病院の祝別・落成式が行われたが、百名以上の参加者で盛は、改築に踏み込み、昭和五十六年から二年かけて工事を進めてきたが、この二月に病院の完成を見事に至つたのである。

Cnustom Tailor

### 永洋服店

福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

## 祭壇・洗礼盤他

石のバイオニア  
高木石材株式会社  
〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

素材 { 大御そ 理影の 石石他





(第一面から)

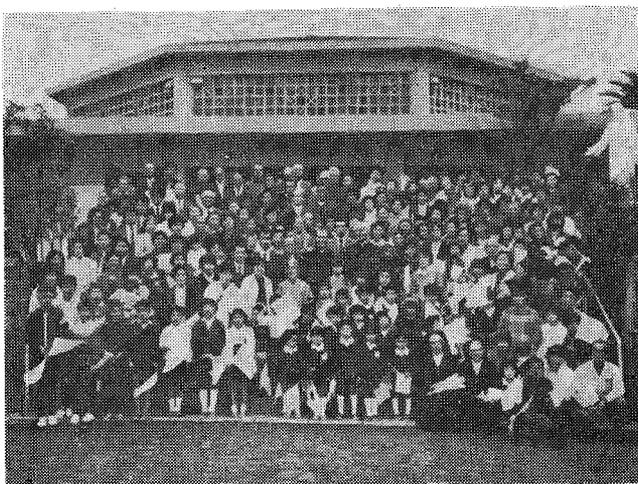
日はハードスケジュールになる。午前九時、司教館を出発、黒崎の老人ホーム聖ヨゼフの園や明治学園をそれぞれ訪問した。午後一時からは、パリ外国宣教会北九州本部に集まった司祭たちと会食し、歓談した。その後、新田原教会と隣接の新田原聖母病院を訪問し、信者たちや病院関係者の温かい歓迎を受けた。大使一行の司教館帰着は、午後九時近くであった。

四月十二日、再度の福岡地区巡行。福岡市内の教会や修道会経営の学校を訪れ、訓話を与えた。福岡小神学校をも視察、学生たちに有益なすめを教えた。午後六時からは、司教館新館ホールで、地区司祭との会食、対話集会に出席し、司祭の心に深いものを残す。

四月十三日から二日間は、熊本地区の訪問に当てられていた。大使一行は、午前八時四十五分、司教館を出発し、熊本に向かった。手取教会で、地区司祭たちとの共同式ミサ、対話集会、会食に参加した。それから市内の修道会関係の学校、病院、老人ホームに、励ましと慰問の一時を過ごす。

翌日、午前十時に宿泊した手取教会を出発し、菊池郡西合志町の熊本天使園を慰問する。午後二時すぎ、阿蘇見物に向かったが、あいにくの悪天候のため視界が悪く、早々と福岡に引揚げた。

公式訪問最後の日である十五日には、大使は、今村教会や久留米信愛女学校、福祉施設を訪ねた。そして午後五時三十分、元氣な様子で空路帰京した。



### 大使を迎えた新田原教会

☆福岡大学付属病院で精密検査を続けていた大野正恒神父(泰皇学園高校校長、イエズス会)は、四月十日、閉塞性黄疸のため、東京国立がんセンターに入院した。容態の悪化が懸念されている。大方の加療をお願いする。

☆四月二十一日正午から、小郡カトリック幼稚園(園長・平田正喜神父)の祝別・落成式があった。新園舎は、外装白色の鉄筋二階建て、建坪三〇八坪である。一階には、職員室、応接室と六教室があり、二階がホール(遊戯室)となっている。収容している園児は二四一人で、園長以下九人の職員が

### 飛脚

保育に従事している。

☆大福カトリック教会(主任・堀要吉神父)は、四月二十九日一時から、小教区創設二十五周年を祝った。平田司教と十三人の司祭による共同式ミサで、過去をふりかえりながら今後の教会の発展を祈り合った。大福教会は、一九五八年三月七日創立され、初代主任に金松敏神父(現大分教区総代理)、助任に竹森道神父(現宮崎教会主任)が着任した。その後、二代目主任青木功神父、三代目主任堀要吉神父が続いている。歴代の助任の中には、田川清美、牧山重光、平田敬諸師の名がある。現在の教会堂は、一九六四年十二月に祝別式を挙げています。



熊本天使園の大使

### 五月の聖体礼拝当番教会

- 五月一日 美野島、崎津
- 五月八日 高宮、島崎
- 五月十五日 老司、玉名
- 五月二十三日 吉塚、手取
- 五月二十九日 福岡小神

☆今春福岡教区に転入した若原男新教会で開かれる。聖歌に関心を女信徒の歓迎と親睦を兼ねて、五月二十二日(日)午後一時から、司教館新館ホールで「移動信徒の青年信徒の協力を得て、バレーボール大会などによる楽しい一日を計画している。多数の転入信徒の参加を希望する。なお、準備の都合があるので、参加希望者は下記の者いすれかに連絡をお願いします。福岡小神学校竹森道神父(〇九二)五三一六八二か聖母訪問会シスター川口(〇九二)七四一四二五〇まで。

☆月例の典礼聖歌研究会が、五月二十九日午後一時三十分から、西

☆五月の聖体礼拝当番教会は、五月一日から二十九日まで、各教会の司祭が担当する。この期間中は、各教会の司祭が、聖体礼拝の準備と執行にあたり、互に協力し、互に励ましあう。また、この期間中は、各教会の司祭が、聖体礼拝の準備と執行にあたり、互に協力し、互に励ましあう。また、この期間中は、各教会の司祭が、聖体礼拝の準備と執行にあたり、互に協力し、互に励ましあう。

### 四旬節の愛の献金

楠山古丘	5,983	崎卷川畑代尾	15,000
大茶能光	25,000	黒水湯戸八荒	40,827
ケ老高笹本	25,068	大島崎本人菊玉	223,590
光老高笹本	59,942	郷方野賀川村倉	154,727
老高笹本	47,000	小倉村倉	48,000
高笹本	28,000	小倉村倉	45,000
笹本	33,218	小倉村倉	105,713
本	7,500	小倉村倉	102,046
直	14,000	小倉村倉	26,300
吉	7,800	小倉村倉	13,000
古	59,098	小倉村倉	27,142
田	11,500	小倉村倉	15,000
今	265,060	小倉村倉	24,088
小	144,769	小倉村倉	42,561
二	144,000	小倉村倉	42,654
門	64,753	小倉村倉	18,000
司	54,910	小倉村倉	30,000
松	119,538	小倉村倉	10,730
王	50,000	小倉村倉	2,280
寺		小倉村倉	
塚		小倉村倉	
飯		小倉村倉	

総合建設業

## 八千代建設株式会社

取締役社長 田中 清  
取締役副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

## (株)メガネの正視堂

代表者 ファンシスコザビエル 臼井芳数

行橋市駅前通り本店 電話 2-0646  
 " 駅前5秒店 電話 2-2390  
 北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
 " ダイエー城野店3階 電話 922-5637

# 今年の金祝・銀祝の司祭たち 聖木曜日喜びの二重奏

三月三十一日(聖木曜日)午後正午には、二人にとって真の一時から、今年中に司祭叙階二十五年と五十年を迎える司祭たちの祝賀会が一括して行われた。これは、例年聖香油聖別のミサを共同司式する司祭が多いのを見込んで計画されたものである。事実十一時の聖香油聖別の共同司式に、六十人の司祭が加わった。

祝賀会は司教館新館ホールで行われ、山田成章師による金祝・銀祝司祭の紹介のあと、記念品(金一封を含む)がそれぞれに立田司教から手渡された。  
金祝の喜びとなった司祭は一人、聖コロンバン宣教会のオブライエノ師(熊本・手取教会助任)と司教館の平田惣五郎師である。喜ぶの銀祝司祭は四人であったが、病氣入院その他の都合により二人が出席した。銀祝司祭を列記してみよう。大野正恒師(秦里学園高校校長・イエズス会)一九五八年三月十八日叙階、堤敏雄師(吉野教会主任)三月十九日叙階、キニエ師(黒崎教会助任・パリ外国宣教会)六月二十九日叙階、ドワイヤ師(聖アウグスチノ修道会日本管区長・世丘教会)十二月二十日叙階。一口に二十五、五十年といふが、これは犧牲の結晶であつて、それだけに喜びと神の恩恵の大きさを感ずるのである。



平田司教と金祝の司祭たち



福岡小神学校の新入生

## 召命の増加にうれしい悲鳴 新入生十八人の小神学校

「刈り入れは多いが、働く人は少ない。だから、刈り入れのために働く人を送つてくださるよう、刈り入れの手に祈り求めなさい」(マタイ九・三七-三八)ガリレヤ布教中のイエズスが、牧者のいない羊のような群衆を見て弟子たちにすすめたことばである。ここに、祈る者へのキリストの保証を讀み取ることができよう。  
昨年創立五十周年を迎えた福岡小神学校に、大異変が起りつつあるのではないだろうか。ことしは、一挙に十八人の新入生の到来であつた。過去の夢物語が現実となつた今、校舎の手狭さも緊急の課題の一つになつてきた。手離し

最新刊 好評発売中  
浜尾文郎著 ◎家庭に一冊必携の書  
**贖いの特別聖年**  
教皇さまの特別聖年の教書を基に、贖いの秘義とその恵みの適応について解りやすく説明された指針書です。壮年会、婦人会、青年会、修道会などの研修資料にご利用下さい。  
新書判・定価 490円・〒200円  
聖パウロ修道会 中央出版社  
〒160 東京都新宿区四谷1-2  
☎ 03-357-6401

### 会合と催し

- ☆立田司教 5月10日 司祭月例会集及ひ司祭評議会
- 14、15日 全国朝禱会
- 15日 ウルズラ修道会立誓願25年祝い
- 22日 健康教会教信
- 29日 水善教会教信
- ☆福岡黙想の家
- 4月30、5月3日 クルシリヨ
- 5月19日 聖公会婦人会の祈りの集い
- 22、25日 大神学院着衣定者の黙想会
- 26日 在日西南韓困婦人連盟の研修会
- ◎前号記載浅れ 神学校後援会費八、九六九円合志教会でした。

**東洋警備保障株式会社**  
代表取締役社長 瀬戸福一  
福岡市博多区堅粕4丁目1-12 嶋井ビル2F  
TEL 福岡 (092) 471-0245(代)  
管制センター TEL 福岡 (092) 471-0279(代)

Custom Tailor  
**永洋服店**  
福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

**祭壇・洗礼盤他**  
石のバイオニア  
理影の  
大御そ  
素材 { 石石他  
高木石材株式会社  
〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

日本定住の許可  
熊本の難民一家に

熊本の日赤難民収容施設「古城園」のベトナム難民ファン・ティ・コウさん一家に、三月二十三日待望の日本定住の許可が届いた。喜びに包まれたコウさんは「贈られて皆さんの仲間入りをしたのでよろしく。これも、生活の保証を引き受けてくれた健康教会の信徒の皆さんや周囲の人々の温かい親身のお世話のお蔭です」と、感謝の気持ちを語っている。

コウさん母子は、一九八〇年五月二十日夜明け前の四時頃、二十人の仲間とランタオ港から三回目の脱出を遂行した。小舟に命を



熊本のコウさん一家

エルサレム		聖地献金	
町山楠塚司	65,400	畑川塚野	28,200
大茶大吉	11,500	戸田飯吉	3,000
老高留	5,937	水若吉	17,000
久今	15,000	岩松名代	2,309
箱行本	20,000	尾津崎	15,000
小湯黒門	11,000	島水大人	11,000
二八新大古	20,000	武伊唐島	4,000
門天	90,685	西呼直合	17,500
	10,000		10,000
	9,157		7,750
	20,000		40,184
	30,000		5,000
	28,486		7,936
	37,000		14,665
	26,772		3,000
	36,000		5,000
	5,000		5,000
	43,500		9,938
	6,460		35,000
	8,660		4,700
	14,549		15,680
	8,600		785,568

託し、運を天にまかせて漂流一週間。幸い日本船に救助されて熊本の古城園にきた。あれから三年目にして、漂流が終わり告げた。今、コウさん家族では、長男がマリスト学園に入り寮生活。長女と次男は、熊本市託麻原小学校六年生と五年生。母親コウさんは、県の弘済会の職場に勤務している。父親は、最近十五回目の脱出に成功してマレーシアに待機し、日本の家族との再会の日を楽しみに働いているとつづける。

五月命日の司祭

- ▼フランスワ・ルマリエ神父(パリ外国宣教会) 一九四五年五月五日元熊本真八代教会主任
- ▼フェルナンド・チリ司教(パリ外国宣教会) 一九三〇年五月十日初代福岡教区長
- ▼ヨハネ棚町正刀神父(一九六八年五月十五日元茶山教会主任)

贖いの聖年聖地巡礼団

— 平田司教様と共に —

贖い主が生まれ、生活し教えお亡くなりになった聖地パレスチナや聖ペトロ大聖堂の門をくぐるローマへの巡礼によって、生き生きとした信仰をいただきますよう

旅行期間 昭和58年7月19日(火)～8月2日(火)  
 参加費用 596,000円  
 申し込みの締切日 昭和58年6月10日(金)  
 申し込み先 福岡司教館山田神父 ☎(092) 522-5139



信頼に誠意と技術でこたえる

株式会社 藤木工務店

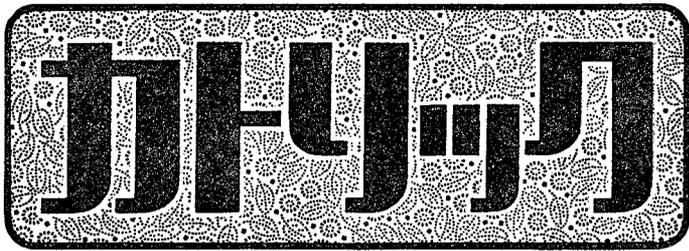
取締役社長 藤木 鐵 三 満  
 福岡支店長 池 内  
 福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

和田昌子修道女  
四十七歳で帰天  
シスター・エズスのテレジア和  
田昌子(福岡カルメル会)が、四  
月九日午前七時三十五分、ガンの  
ために死亡した。四十七歳。  
葬儀ならびに告別式は、福岡カル  
メル会修道院でしめやかに行われ  
た。和田昌子修道女は、一九六二  
年五月八日、福岡カルメル会に入  
り、神との一致の生活を続けた。

各種高圧ガス・溶接材料・その他  
**松尾産商株式会社**  
 社長 松尾光敏  
 北九州市若松区藤ノ木1-4-23  
 TEL 771-3657

吉川病院

院長 吉川 東 陽  
 福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568



平田司教認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 発行兼人 山田成章  
 編集 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

折禱の使徒会  
 (一般) 司教によるキリストの愛の証し  
 (布教) 布教国におけるキリスト教的家庭

### 実りある聖年にするために 聖年意識の活性化も促進する 具体的提案を出す司祭評議会

五月十日、午後一時三十分から「よこ」に集まっている。その上、神に催された司祭評議会は、実りある聖年にするための論議に多くの時間を割き、多種多様な具体的提案を行った。勿論、これは決定事項ではなく、司祭団・修女連・信徒協各位の検討によりよい意見を願うための試案に過ぎない。

XXXXXXXXXX

平田司教は一九八三年の四旬節教書「聖年と宣教」において「聖年は主の愛の再発見の時であり、私たちが悔い改めと回心に招くものである。ゆるしの秘跡は、神の慈しみと人間のよきさの出会いの場であり、罪の奴隷から神の子の自由への過越である」と訴え、ゆるしの秘跡にたどり着くようにすすめている。また死か生命に過越し、神の国に向かつて旅する私たちに必要とされる旅路のかたき、聖体をたたび頂く年にする

### 福岡地区納骨堂管理 委員会からのお知らせ

☆大橋墓地の清掃  
 日時 七月二十四日(日)  
 午後一時半から四時

☆追悼ミサ  
 日時 八月十四日(日)  
 午後二時(大橋墓地)

☆納骨堂開放  
 日時 八月十三日(土) 十四日(日) 十五日(月)  
 午前十一時から午後三時まで

### 六月の聖体礼拝当番教会

六月五日 茶山 八代  
 六月十二日 箱崎 合志  
 六月十九日 大楠  
 六月二十六日 笹丘

巡礼(訪問)においては、国外・国内を問わず教皇さまの意向に従って「使徒復讐」と「主の祈り」を各一回繰り返すこと。

司祭評議会は以上の司教の意向を踏まえて、実りある聖年を迎えるにはそれだけの準備が必要で、そのために聖年意識を深め、活性化することを痛感した。そして、つぎの具体的提案を決議した。

(1) 教区の聖年スローガンの作成  
 聖年に立ち向かう教区の姿勢をスローガンにまとめられた。「救いの喜びを」が提案された。この狙いは私と信者が、キリストととも死か生命への過越して洗われる。聖信・聖体という入信の秘跡の恵みの喜びと、罪人でありながらもゆるしの秘跡をもつても「親し神とキリストとの歩みの喜びを味わい、それを周囲の人々に伝えよう」ということである。さらに、教会でいうキリストの愛のおきては、自由と喜びのうちに示されるものであることを自覚しながら、この聖年の一年間をキリストとともにキリストによってキリストのうちに歩むということを目指している。ここに、キリストとを讀み取ることができると思う。

(2) 身近な聖年の準備  
 教区事務所は、各小教区の信徒・修道院用に「聖年のための祈り」を準備し、配布する。また聖年用ポスターや司祭のための聖年に関する説教(見本)を作成し、配付する。

各地区、小教区、家庭では、信仰生活の自覚のためと聖年への意識を活性化するために祈りの生活を促進する。個人または共同体としての礼拝への積極的な参加、共同体としてあるいは個人による信心の奨励、家庭での家族揃っての祈りの実行(ロザリオ、朝夕の祈りなどが考えられる)を強力に働きかける。

(3) 教区の聖年大会  
 三月四日(日)に、「救いの喜び」というスローガンのもとに、ミサ、講演会、信仰体験発表、作文募集、アトラクションの中から、いくつかを挙げる。

(4) 聖年大会の準備委員会の結成  
 大会を盛り上げるために、司祭団・信徒・修女連の代表委員による準備委員会を設け、下部からの積極的な参加と協力を求める。

### 教区人事

五月十五日  
 ☆教区青少年担当  
 当松井忠伸父(大石町教会助任)

梅雨の季節がや  
 ってきた。濁水に  
 悩まされた過去の  
 悪夢が、ふと脳裡  
 をかすめる。層の上では、入梅は  
 六月十一日である。今年は、空梅  
 雨それとも豪雨による水害のおま  
 けつきか、気を操まざる時期であ  
 る。願わくば、生活用水に事欠  
 かぬ降雨量の月であってほしい。  
 六年前の、真夏の聖地巡礼の想い  
 出は数多いが、その中でも、サマ  
 リアの「ヤコブの井戸」の水は、  
 美味と冷たさにおいて強烈な印象  
 として残っている。深さ三十米以  
 上の「ヤコブの井戸」は、聖書の  
 舞台として余りにも有名である。  
 (ヨハネ四章一十五) 旅の疲れ  
 で一服していたイエスは、「ここ  
 でマリヤの婦人に水を所望す  
 る。ユダヤ人と冷戦状態にある当  
 のサマリヤ人は、心良く応じよう  
 とはしない。イエスは辛抱強く  
 彼女を説得し、見えるものから見  
 えぬものへと案内する。「この  
 水を飲む人は皆、また渇く。しか  
 したわしが与える水を飲む人は、  
 永遠に渇くことがない。」荒れる  
 社会事件を自にする度毎に、渇き  
 切った愛の砂漠の広がりを感じ  
 てしまふ。家庭や社会に生ける水  
 を与えるのは、福音宣教と証しを  
 目指すわれらの責任ではあるまい  
 か。「主よ、渇くことのないよう  
 に、またこぼれ水を汲みに来な  
 くていいように、その水をた  
 さい」と、このサマリヤの女の姿  
 は現代世相のネガに見えくる。  
 行動する福音的証しは、祈りと  
 同様な緊急課題である。難民定住  
 の明るい話題に勇気が湧く。

**シオタ** 小まわりのきくアフターサービス。

営業品目  
 オフィスコンピューター・パーソナル  
 コンピューター(マイコン)・POSTER  
 ミナル・ワードプロセッサ・ファク  
 ミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般  
 事務機器・オフィス家具・問仕切

コンピュータと複写機・事務機器の部社  
 (有) **シオタ事務機**  
 福岡市南区大楠2丁目13番21号  
 〒815 TEL (092) 521-8266(代)

代表取締役 堀野 田五郎  
 取締役営業部長 堀野 吉忠

**熊本石材株式会社**

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
 52-8622

### CLC 8日間の霊操案内

完全な沈黙のうちに懇切な指導を受けて、初歩の方でも神の声を聞ける黙想会です。4日間だけの参加者は前半後半に分けて受付けます。

指導 エド・ネメシュ神父 主宰チーム  
場所 聖母の家(玉名黙想の家) 玉名駅徒歩7分  
玉名市中1225玉名カトリック教会内  
日時 7月28日(月) 6時夕食～8月5日(火) 午前  
前半28日～1日午後、後半1日夕食～5日  
定員 15名(前半後半合せて一名として数えて)  
費用 一泊に付3,000円(一切の費用を含めて)  
御申し出があれば減免もいたします。  
申し込み期限 6月25日、成るべく早目にお願ひします。  
申し込み所 〒862熊本市国府2丁目6-102  
TEL-0963-71-4156  
中野 尚夫

和解は人間の新しい創造は「キリスト」によって私たちが「自分と和解させた神から受けている」(コリント後5・18)と言ひ、又「あなたたちは、以前は神から離れ、悪い行いによって、心の中で神と敵対していましたが、今や、神の架で扉をさし、イスラエルの地

「和解は人間の一つの面であり、人間は自分の力ではとても神と和解することはできません。神からの積極的な介入が必要であり、聖パウロはキリストの一致による人間の新しい創造は「キリスト」によって私たちが「自分と和解させた神から受けている」(コリント後5・18)と言ひ、又「あなたたちは、以前は神から離れ、悪い行いによって、心の中で神と敵対していましたが、今や、神の架で扉をさし、イスラエルの地

### 贖いによる和解

(四旬節の平田司教書より)

実りある聖年の準備の一端として、四旬節教書の一部を再録し、読者とともに和解について黙想してみようと思つた。

XXXXXX

を汚す極悪人として、はりつけといふ最も不名誉な、非凡な死を承諾されたキリストの非凡な愛の神祕です。この愛を父から受け、非凡な状況のもとで、おん父と私たちが最高度に示してくださったのでした。

救いの業は神の側からすればすでに完了していますが、別の観点からすればそれは主の再臨の時まで続きます。聖パウロによれば使徒の活動、教会の活動は「和解、役務」(コリント15・18)つまり「和解の言葉の伝達者」となり、この和解による「平和の福音」の宣教にあります。したがって教会である私たちは神との和解、家族の和解、民族間の和解の宣教者でなければなりません。和解への働きかけは神から来るものですが、その恵みは、信仰によって、すべてこれに同意する者にしか与えられないので、聖パウロとともに叫ばねばならないのです。「キリストに代ってせつに願つ、神との和解を受け入れなさい」(コリント後5・20)。この神との和解は、まず兄弟との和解がなければ、神の意になんぞ礼拝を捧げることができないといふ厳しい条件付きのものであります。(参照マタイ5・23、24 私たちはこの贖いによる和解を宣教し、人類が一つの群となり、牧者である神の声に耳を傾けるよう努力しなければなりません。



五月二十一日午後八時から二十一日午後一時まで、社会人信徒の有志による初めてのワークショップが福岡黙想の家で開催された。福岡教区内に居住する約二十人の信徒は、日本宣教師センター所長佐々木博神父を特別講師に招き、社会に生きるキリスト者の指針を模索するために集まった。佐々木講師は、自著「今、問われていること、現代カトリック者の責任と使命」の中の「最近信者の目指す世界の教会」について概要を説明した。

講話の後、日常出会う家庭、職場、地域社会、教会における諸問題について意見を交換し、明日の信者に必要なものを多く学んで散会した。

### 六月命日の司祭

トマス平田好神父一九三八年六月二十一日元門司港教会主任

## 贖いの聖年聖地巡礼団

—平田司教様と共に—

贖い主が生まれ、生活し教えお亡くなりになった聖地パレスチナや聖ペトロ大聖堂の門をくぐるローマへの巡礼によって、生き生きとした信仰をいただきましょう

旅行期間 昭和58年7月19日(火)～8月2日(火)  
参加費用 596,000円  
申し込みの締切日 昭和58年6月10日(金)  
申し込み先 福岡司教館山田神父 ☎ (092) 522-5139



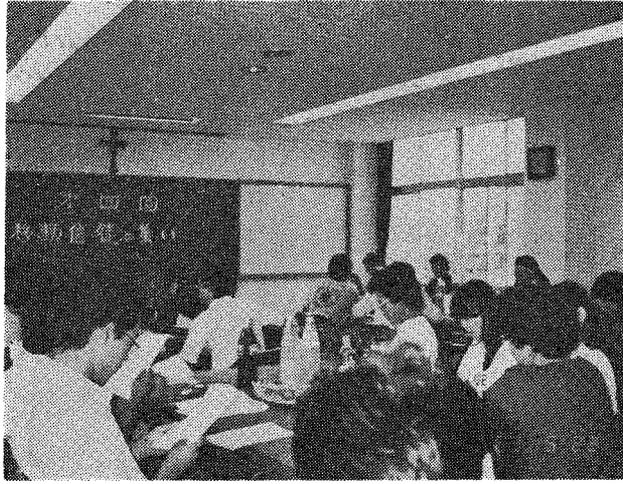
総合建設業  
**八千代建設株式会社**  
取締役 社長 田中 清  
取締役 副社長 渡辺 勝三郎  
〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく  
**(株)メガネの正視堂**  
代表者 フォンシスコザビエル 白井芳数  
行橋市駅前本店 ☎ 2-0646  
" 駅前5秒店 ☎ 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 ☎ 641-4321  
" ダイエー城野店3階 ☎ 922-5637

### 第四回移動青年の集い

去る五月二十二日の聖霊降臨祭の午後一時から、福岡教区では、移動青年（他教区から転入して来た青年）の歓迎会並びに地区青年会との親睦会を催しました。今年も多くは、福岡教区に就職や進学等が入って来ましたが、長崎教区からの転入も、確認した数だけでも七十六名でしたが、届けられぬままに入ってきた方も多く含まれると、かれこれ百名に上ると思えます。

これら多くの若人のエネルギーを受けられる市や教会も大いにエネルギー源の確保です。よろこばしい事と思えます。最近の私



移動青年の集い

連のカトリック教会をゆき、聖霊の働きは、いち早く地区青年に働きかけてくださいました。彼等は指導司祭の一声のもと、この新しい友人達を暖かく迎え入れようと奮起しました。担当司祭達の小さな働きを盛り上げてくださった。各小教区の青年達は、指導を受けるや、異論も文句もなく、各自のセンスを生かすべく割り当てられた場を速やかに完全に果たしてくれました。連絡係、司会者、会場係、スポーツ係、ムード係、お茶係や印刷係りなど、よくやってくれました。九州の最果ての地のなまりをなつたしく響かせながら、若者達の初々しい姿と晴れやかな笑顔は、繁華街の中では出合えない清らかさを漂わせていました。聖霊がお住みになる神殿としての輝きでした。キリストに結ばれた者同士が集いは素晴らしい雰囲気でした。特にバレーボールに取りくむ彼等の姿は、勉強も仕事も忘れた本当にぬぐわれた五月晴れに、天の神様もさぞ満足だったことでしょう。手頃の場所の司教館のグラウンドで、親愛と呼ばれる司教様はお留守で残念でしたが、新たな出現を見た「青少年司教担当司祭井神父様ととも一人の協力者シスター浜口（サンモール会）を御迎え出来、更にフィットを燃しました。各小教区の皆様、この喜ばしい集いを御想像ください。この度出席出来なかつた青年達が次回には是非出席出来ますよう協力ください。引き続き始めの教会を初めて訪れる人々に、暖かい兄弟的配慮を賜りますようしく御願ひ致します。（文責・シスター川口八訪問会）

### 会合と催し

- ☆福田聖霊の家
- 29日 司教霊名の祝賀会
- 26日 老司教会の祝別式
- 21日 師イエズス会福岡修道院の落成式
- 19日 若松教会堅信
- 15日 聖書共同訳発行委員会
- 12日 新田原教会の堅信、聖体行列
- 9日 福岡地区婦人会の総会ならびに研修会
- 6月5日 戸畑教会の創立五十周年祭と堅信

### 金 献 日 の 報 告

(5月8日)

10,332	伊万里	97,360	町道丘
17,759	榑司	31,500	水ヶ崎
17,693	門司港	64,020	浄光
11,325	小倉	18,340	大箱
95,203	川松	12,000	笹野
46,576	新島	30,000	西美
59,806	山宮	31,150	茶高
12,225	塚免	7,377	老吉
30,000	賀米	11,800	志古
42,700	米田	60,500	久大
12,810	野村	17,500	今本
25,764	郡島	21,000	小馬
20,000	方原	6,648	直新
10,000	橋子	38,948	行呼
31,344	賀津	13,000	佐唐
7,000	津池	50,528	
14,000	名代	10,000	
6,600	志計	2,861	
13,000		93,085	
7,000		27,000	
6,500		7,028	
9,010		16,625	
15,000		4,500	
53,000		75,300	
5,500		13,418	
8,300		8,200	
8,870		15,000	
38,660		3,500	
1,424,165			

### 修道誓願銀祝

福岡市の聖心のウルスラ宣教女



6月3～7日 幼きイエズス会  
スターの黙想会  
18～19日 聖霊刷新運動の祈りの集い  
19～20日 聖母マリエスターの黙想会  
25～26日 幼きイエズス会  
留米修道院の第一修練  
29～30日 一受難会修道院の研修会

修道会本部は、五月十五日（日）シスター戸村ハルノとシスター安部カノの修道誓願二十五周年祝いをを行った。午前十一時から、浄水通教会で平田司教と永谷神父の共同司式ミサが捧げられた。両修道女はミサ中誓願を更新し、奉獻生活の喜びと感激を新たにした。

また、五月二十五日、東京都八王子市の師イエズス修道会本部修道院では、駐日教皇大使カスパー大司教や平田福岡司教の臨席のもとに、シスター坂本サト（福岡司教館共同体付、紐差出身）を含む七人の修道女の立誓願銀祝感謝ミサが盛大に行われた。七人は始心と平戸・北松浦郡の出身で、遠来の祝賀客で終日賑わった。



### 東洋警備保障株式会社

代表取締役社長 瀬戸 福一

福岡市博多区堅粕4丁目1-12 嶋井ビル2F

TEL 福岡 (092) 471-0245(代)

管制センター TEL 福岡 (092) 471-0279(代)

Custom Tailor

### 永洋服店

福岡市中央区浄水通8-8

TEL 531-3831

夜間 521-0820

### 祭壇・洗礼盤他

石の  
影の  
大御  
素材

石のパイオニア

高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21

TEL 52-2417

# カリズマ刷新・九州地区合同祈りの集い

指導司祭……マテオ、ベツク神父(御受難会)  
 全米カリズマセミナー(5/27~29)参加  
 東京カリズマ奉仕会議(6/13)参加  
 と き……6月18日(土) P・M 3:00より  
 19日(日) P・M 4:00まで  
 ところ……福岡県想の家  
 会費……一泊三食…¥3,500(雑費込み)  
 一食…¥1,500(雑費込み)  
 持参品……聖書、洗面具  
 申し込み……810福岡市中央区浄水通39号教館  
 TEL 522-5138~9 Br、床島藤吾昇の家  
 814-01福岡市城南區片江1丁目17-63黙想の家  
 TEL 871-7108 Br、梅田修平可集い  
 切 催……6月15日但し当日申し込みも  
 主 催……九州地区カリズマ刷新祈りの

## 福山夫妻(健軍教会信徒)が ベトナム難民の姉弟を里子に 実子同様に福音の愛の証しを

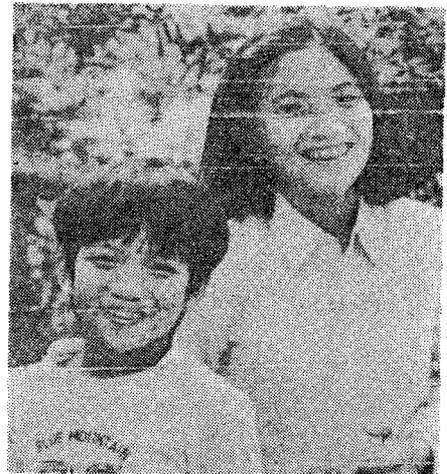
五人の子宝に恵まれている福山夫妻(八)の二人。  
 男(三)、女(四)の夫婦は、熊本県東野三丁目に住んでいる。主人はリスト高の教師であるが、奥さんはボランティア活動として熊本県土城郡益城町の日赤ベトナム難民施設・益城古城園へ、日本語の教育奉仕に通っている。

四月二十日、福山夫妻は三日を特別の感動をもって過ごす。それは、古城園に収容されていた二人のベトナム難民姉弟を里子として迎えたからであった。この姉弟は、南ベトナム・ドンナイ省出身のウ・ティ・タン・テイウイさん(二六)と、ウ・ク・オック・ホは、熊本県内で初めてとなる。

テイウイさん姉弟は昨年六月、おじ、おばら六十五人と二緒にベトナムを脱出したが、両親と五人の兄弟はベトナムに残った「あとから私たちも行くから」と言いながら、姉弟二人だけを乗船させた。約二十日間の漂流生活は飲食に事欠き、極限状態に追い込まれた。自分のオシッコで溺れをしのぐこともあった。昨年七月四日、幸運にも日本船に救助されて岡山県の宇野港に上陸。長崎県の大村収容所を経て、十月十二日、益城古城園に到着した。

そこで、ボランティアをしていた福山夫妻との出会いとなった。テイウイさんは福山あき子、ホア君は福山ボアという日本名を頂いた。この四月から、それぞれ熊本市内の東野中、秋津小学校に通っている。福山家は七人の子供に取っ囲まれて、賑やかな毎日となった。自宅では小学生組と中学生組に分けた子供部屋で、ベトナム姉弟の里子も実子同様の養育をうけている。

ホア君は「私が里子になるとを言いつけたが、家族の者も納得してくれました。二人は望む道に進ませるつもりですが、できたらベトナム人としての誇りを持つた子に育つたい」と話している。また、福山さんはテイウイさん姉弟の両親にあてた手紙に「ボア君は神父様になりたいそうですが、今のところまだ八歳なので、もう少し待つて大きくなって決心が変わらなければ神学校に行かせる。テイウイさんはまだ十六歳ですが、日本でもう一度基礎的な勉強から、日本でもう一度基礎的な勉強から、



テイウイさんとホア君

強から始めて、中学、高校と進ませ、もし本人が希望するならば学へも行かせます」と書き送っている。

「だから日本語を教えてくれる人、いないかしら」福山さん夫婦の心配事の一つである。ベトナム姉弟の二人ともまだ片言の日本語しか通用しないのだ。「国語むづかしい」と四苦八苦するテイウイさんの姿は痛ましい。ホアさんは先生役と母親の難しい立場に置かれている。二人はばかり目を向ける。今度はお実の子のひがみが出てくる。そんなことからわが子、里子のけんかも起きた。「あんなはママの子。かわいくないはずがないでしょう」とわが子を含め、無邪気に振るまき里子には、そっとときといた。テイウイさんの机の上には、漢字の練習用紙が散らしてあった。一番下の妹の写真が飾ってある。ベトナムの多感な年頃の娘心は、祖国の家族への想いに涙

「でも思ったより明るいんですよ。ツツとしています。以前の二人を知っている人が、これ以上明るくならないほうがいいね、なんて笑って言うくらいですから。案外ケロツツとしているようでもありませんね」ホアさんがこう話している間に、直新しいランドセルのボア君が帰ってきた。と同時に玄関のドアが開いて、友達かやって来た。三男の猛男君も一緒。冷蔵庫からジュースを引っ張り出してガヤガヤやっていたかと思うと、いつの間にかいなくなった。公園に遊びに行つたんだという。セーラー服のテイウイさんも帰ってきた。「こんにちは」とニコリ。二人つきり話しても、大きな声でキヤッキヤと元気がいい。ホア君の体操服にセッケンをつけるのだといつて、ミシンを引出し、ベトナムの音楽をかけて、歌ってみせる。生徒手帳の住所欄を開けて、ズラリ並んだ名前を見て「私、友達いっっぱい」無理しているように見える。

信頼に誠意と技術でこたえる



## 株式会社 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵 三満  
 福岡支店長 池内  
 福岡支店 福岡市博多区博多駅南 4-18-2 電 (092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木 1-4-23

TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568

# カトリック

平田 司教 認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 発行兼人 山田 成章  
 編集人 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

**合併号のお断り**  
 今年に限り、都合により七月号と八月号を合併号として発行しますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

## 在日ローマ教皇庁大使 ガスパリ大司教主のみもとに 在勤五年五カ月の功績を後に



在日ローマ教皇庁大使ガスパリ大司教が六月二十三日午後三時十分、東京・千代田区三番町の同大使館で心不全のため急死した。同大使の死は、そこに働いていた修道女によって翌午前七時三十分頃発見されたが、検視の結果、前述の時刻に急性心不全、爆発したことが確認された。六十五歳。ガスパリ大使はイタリア・モナコ生まれ、一九四九年から教皇庁外交官になり、メキシコ大使から駐日大使となって五年数カ月、布教国日本の精神的土壌作りに大きな功績を残した。中でも一九八一年のローマ教皇ヨハネ・パウロ二世の初来日実現に尽力、精神的価値観の見直しを日本国民に促した。

また故大使は、福岡教区に強い印象を刻んだ人物であった。去る四月には、大使就任後初めての教区公式訪問を行い、さくばらん人柄とやさしさをもちて教区民

自分が所有しないものを他人に与えることはできない、という原則を、教育の義務を負った立場で考えてみたい。一キリスト教的教育は、受洗した者が徐々に救いの秘義を認識するように導かれながら、受けた信仰のままの目を増し、よりよく意識するよう、特に典祀祭儀において霊と真理とをもつて父である神を礼拝するよう学ぶこと、自分の生活を正義と正しい人によって形成することである(キリスト教的教育に関する宣言)。一会員は全生涯にわたってこの霊的、教義的または技術的教養を注意深く完成させることをめざし、長上はできる限りこの

- (司) (祭) (異) (動)**
- ☆人吉主任 牧山重光師(会志)
  - ☆本郷主任 堀敏雄師(会野)
  - ☆美野島主任 島山七郎師(人吉)
  - 以上七月十六日発令
  - ☆八代主任 黒川博師(大牟田)
  - ☆大牟田主任 西田邦洋師(小倉)
  - ☆大丘主任 ショゼフ・クリン師(八代)
  - ☆会志主任 ヘルリ・オカロール師(大丘)
  - 以上七月二十四日発令

## 易しい神学講座に参加しよう 信仰の成熟は学ぶことから

「祈祭は神の現存又は神の愛を思い出させ、神を忘れないように全人類に忠告する人」であることを力説した大使であった。

なほ、葬儀ならびに告別式は、六月三十日午後三時から、東京聖マリア大聖堂で行われた。

ため機会、手段、時間をかれらに与えなければならぬ」。一(修道生活の刷新・適応に関する教令18)教育の任にある親・教師・指導者は、多く与えるために多く学ばせ、公會議は学ばせ、福岡教区の第二期の神学講座が、九月二十日から十二月二十日の毎週火曜日に、司教館新館

の注目を浴びた。

この外にも非公式には、過去二回来福している。昭和五十三年二月、長崎の松永権司教祝聖式での帰京途中福岡に立寄る。昨年一月には、司教館慰いの家の落成式司式のために訪問している。第一回の来福の折は、遅く開かれていた福岡地区の司祭月例集会に顔を見せ、三十分の講話を与えた。

五階ホールで開かれる。今回は、同一期間内の神学講座を昼の部と夜の部に分け、講義内容と講師を別々にして開催する。夜の部(午後六時〜八時)は修徳神祕神学キリスト教的完徳への道(山内清海神父。昼の部(午後一時から三時)は教義論(教皇憲章を辿りつ)山田成章神父(九月二十日)十一月一日、信仰の喜び(自分・他人・神との出会い)鈴木忠一神父(十一月八日から十二月二十日)。受講料は一回につき五百円(その都度支払いできるが、金納の場合には六千五百円である。十一月十五日は都合により休講。要するに、公會議は学ばせ、

よって信仰を高揚し、現代の要請に適應するようキリスト者各層に勧めたい。

夏休みを中心、巡礼の季節が訪れる。各小教区では、国内の巡礼巡礼と盛り沢山の計画が楽しみである。ことしは特別聖年ということもあって、巡礼団の祈りが熱気を見せるであろう。福岡教区で結成された海外聖地巡礼団(四十六人、回長平田司教)も、七月十九日から二週間の旅に出発する。巡礼は自分のためには信仰の証しとなり、対外的には一種の福音宣教の場に考えられる。▼札束を包み込んだ巡礼者、富める福音宣教者が現代の姿であるが、そこにみる信仰の成熟度はどんなものか。現代の聖者コルベ神父の生涯は、おとりへの挑戦を通した貧しさの実行にあったと思う。貧しさの見直しの中に、神を見る巡礼の効果が出てくるような気がする。「イエスは十二人と呼び集め、彼ら遣わすにあたって、こう仰せになった(旅のために何も携えてはならない。杖も袋もパンも金も持つてはならない)」。一(ルカ九・一二三)▼信仰開発途上の人

暑中お見舞申し上げます  
 昭和五十八年盛夏  
 福岡教区長司教 平田 三郎  
 司教 深堀仙右衛門  
 福岡教区司祭一同

## 祈禱の使徒会

七月の意向  
 (一般) 中米における真の平和の布教) A.A. 諸国における他国への布教援助活動  
 八月の意向  
 (一般) 主の祈りに生きる精神(布教) 布教団訪問の観光者による信仰の証し

## 微光

夏休みを中心、巡礼の季節が訪れる。各小教区では、国内の巡礼巡礼と盛り沢山の計画が楽しみである。ことしは特別聖年ということもあって、巡礼団の祈りが熱気を見せるであろう。福岡教区で結成された海外聖地巡礼団(四十六人、回長平田司教)も、七月十九日から二週間の旅に出発する。巡礼は自分のためには信仰の証しとなり、対外的には一種の福音宣教の場に考えられる。▼札束を包み込んだ巡礼者、富める福音宣教者が現代の姿であるが、そこにみる信仰の成熟度はどんなものか。現代の聖者コルベ神父の生涯は、おとりへの挑戦を通した貧しさの実行にあったと思う。貧しさの見直しの中に、神を見る巡礼の効果が出てくるような気がする。「イエスは十二人と呼び集め、彼ら遣わすにあたって、こう仰せになった(旅のために何も携えてはならない。杖も袋もパンも金も持つてはならない)」。一(ルカ九・一二三)▼信仰開発途上の人

**シオタ** 小まわりのきくアフターサービス。

— 営業品目 —  
 オフィスコンピューター・パーソナルコンピューター(マイコン)・POSTERミナル・ワードプロセッサ・フランクミリ・複写機・印刷機・電話機、一般事務機器・オフィス家具、問仕切

コンピュータと複写機・事務機器の商社  
 (有) **シオタ事務機**  
 福岡市南区大楠2丁目13番21号  
 〒815 TEL (092) 521-8266 (代)

代表取締役 堀田 五郎  
 取締役営業部長 吉里 忠良

**熊本石材株式会社**

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
 52-8622

# 家庭における信仰教育を思う 第二回地区婦人会の総会

六月九日午前、福岡地区婦人会の第二回総会が司教館新館ホールで開かれた。福岡周辺の各教会から九十三人が参加した。

午前中、総会の議事が進み、年度の決算・予算の報告が満場一致で承認され、また行事計画なども了承された。そのあと、平田司教と提議吉神父の共同司式ミサに与った。

午後からは、イエズス会院長キース・ウリック神父と森星徳等学校教頭三好敏先生の一家庭における信仰教育という共通テーマの講演があった。

ウリック神父が「戦後、物が不足していた頃は、人が互いに頼り合って豊かな心が多く見られた。ところが変化の激しい今の時代には、こもも不安定な揺れ代り、かれらは安定した、不変なものを求めている。はっきりとした価値観、しっかりした基準を示さなければならぬのは親ではないだろうか。キリストが自身を私たちに与えてくれたと同様に、家族の一人ひとりが互いに与え合う共同生活作り、こももの責任の自覚、素晴らしい夫婦を基礎にした明るい安定した家庭の在り方



地区婦人会総会

などは、親の最大の務めと考へてほしい」講話の大意であった。また、三好先生の意見は、家庭・学校・社会の共同作業による教育の一体化によって子育てを乗りこえるものにするべきである。家庭と学校が同じ方向を目指した人間作りでない場合、バラバラの人間、荒れたこどもに変化する時解散した。

## 七・八月聖体礼拝当番教会

- 七月 三日 八王寺
- 七月 十日 天神町
- 七月 十七日 黒崎
- 七月 二十四日 小倉
- 七月 三十一日 聖パウロ会
- 八月 七日 門司
- 八月 十四日 門司港
- 八月 二十一日 戸畑
- 八月 二十八日 若松

## (三) 勿忘草

☆ 聖体に捧げられている戸畑教会は、六月五日(キリストの聖体の祝日)、教会創設五十周年を祝った。この日平田司教は、五十周年祝賀感謝のミサを行うとともに聖信式を司式した。一九三三年九月、戸畑市千防町に天使園聖戸畑カトリック教会が設立され、小倉教会の巡回となる。小倉教会主任ヒューゼ神父が毎日曜日来て、天使園ホール兼教会で朝六時半のミサを行っていたという。現教会主任平田敬神父は、九代目に並元り一九七四年以来の勤務である。

本年、五十周年記念行事として大改修を完了した聖堂は、一九五五年に献堂したもので、かなり古い建物である。目下信徒数は八七六八(昨年十二月末)といえ、司教一人が暮らしている誇り高い教会の一つである。

☆ 戸畑教会 代目主任、元飯塚教会主任であったアンデレ・ベニ工神父は、この七月二日司教叙階五十周年を迎える。一九三三年七月二日司教叙階である。現在故国フランスで老後を過ごす。

☆ 平和旬間の教区行事として、八月七日大谷助教会で、平田司教の平和ミサと秋月辰一郎先生の平和講演会が予定されている。



師イエズス会修道院

## 師イエズス会修道院の落成

福岡中央区小笹四自の師イエズス修道女会福岡修道院は、新築工事が完了し、六月二十二日祝別・落成式を行った。

午前十時半、祝別式として平田司教と七人の司教の共同司式ミサが感謝のうちに捧げられた。落成式参加者は、約五十八人だった。

新修道院は鉄筋二階建八八〇坪で、一階には聖堂(七七・六坪)の外、台所、倉庫、食堂、作業室、二、展示室、応接室、院長室などが主な部分で計四〇二、九坪である。二階は、六三、二坪で、図書室、学習室、客室、修道女居室(和室と洋室)病室となつて居る。二階には、修道女の個室十二が準備され、二、三、九坪である。

この修道院は三大特色を掲げているが、典使徒職の奉仕、司教への奉仕と永久礼拝による聖体への奉仕は、現代社会に対応する実効的側面を物語っている。不安定時代の世相を乗り越える大きな秘訣が、聖体への信仰と奉仕に見えてくるような気がする。世の終わりにまで共存するキリストを身近に感ずるのは、聖体において考えられるであろうか。また聖体と不可分の司教職への奉仕や典使徒職への奉仕は、教会の花園に美しい花を咲かせている。司教職の豊かな美りに協力する役務は、大司教キリストに奉仕した母マリアのように偉大なものである。内外ともに充実した発展を祈りたい。

## 総合建設業

# 八千代建設株式会社

取締役 社長 田中 清  
取締役 副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

## (株)メガネの正視堂

代表者 フォンシスコザビエル 臼井芳数  
行橋市 駅通り本店 ☎2-0646  
" 駅前5秒店 ☎2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321  
" ダイエー城野店3階 ☎922-5637



# ボートピープルに愛を 精一杯の援助と交流のために

インドシナ半島特にベトナムが、法蘭西当局に相談があった。地元には大量の難民流出が世界の新聞紙上を毎日のように賑やかに始め、かれこれ七、八年の才月が過ぎたが、今日ではその話題も、一部の関係者を除いては物質万端の社会の中に完全に消え去ろうとしている。この機会に、当時を回想し乍ら、飯塚カトリック教会の出会いを述べてみたいと思ふ。一九七八年七月二十三日の福岡県北部の筑豊地区は、かつて石炭の生産地としてその名を全国に轟かせた。しかし、筑豊炭田の中核であった山田市も石炭合理化のために炭鉱閉山が進み、今日では全国「番目のミニ都市」として有名になった。かつてこの町の老人ホームとして使用されていた大法蘭という日赤の収容施設に、第一陣として八十人のボートピープルが不安な面持ちで到着収容されたのである。彼らの内五十人がカトリック信者であり、そのためミサに参加したいが近くに教会がないどうかと天

も縁が薄く、若い人達が極端に少ないという理由もあってか、ついでに他の教会との交流も疎遠となり勝ちであった。そんなひっそりとした私運の教会に、喜天かの露の一大使命ともいへば、そんな状況の中でボートピープルとの交流が持たれたのである。この教会の主任司祭であるバスケレル神父はボートピープルについて特に関心が強、非常に同情的であった。連絡の直後から毎日曜日の午後、雨の日も風の日も大法蘭に出張し、園内の広間においてミサを行い、その後は彼らと語り合うという大変精力的な活動を今日までつづけている。その頃のボートピープルの人達は、ベトナムの学校の教師、軍の将校、船長、政治家、航機機の整備士といったインテリの人達が多く、私運信者も神父に随行したり或いは単独で大法蘭を訪れた際、彼等とのコミュニケーションを図り、信者以外の人達とも交際を深めて行ったものである。或る時は日本語教師の役割を果し、或いは園内における信者達の宗教的な諸問題について園長との仲介の労をとるといった事等

が当初の頃の主なお世話であった。思つ。しかし、それ以上に彼ら初直接世話する日本大法蘭の園長初職員の方々の「苦勞は大変なものであった」と聞き及んでい。なせ言葉が全く通じない(多少英語が通じる程度)こと生活習慣及び国民性の相違によつて、彼等の世話には言語に絶するものがあつたに違いない。その中彼らも園内で生活に馴れて来ると共に私運信者の気心をお互いにかわらううになり、その年のクリスマスには彼等全員をミサとその後のパーティに招待し一緒にラブを祝つたもので、現在までその行事は続けられて居る。又教皇様来日の際の長崎市における野外ミサに参加するため、彼らの代表一人とバスケレル神父をして私運信者十七人を加えて小さなマイクロバスで共に吹雪の中を長崎へ出発した。寒かつた野外ミサなどの想い出は彼らと共に永遠に心の中に残るであらう。この五年の間に、当初のボートピープルの人達は口々に「天国で逢いましょう」と言葉を残して、アメリカ・カナダ・グアム・オーストラリアにそれぞれ出

が当初の頃の主なお世話であった。思つ。しかし、それ以上に彼ら初直接世話する日本大法蘭の園長初職員の方々の「苦勞は大変なものであった」と聞き及んでい。なせ言葉が全く通じない(多少英語が通じる程度)こと生活習慣及び国民性の相違によつて、彼等の世話には言語に絶するものがあつたに違いない。その中彼らも園内で生活に馴れて来ると共に私運信者の気心をお互いにかわらううになり、その年のクリスマスには彼等全員をミサとその後のパーティに招待し一緒にラブを祝つたもので、現在までその行事は続けられて居る。又教皇様来日の際の長崎市における野外ミサに参加するため、彼らの代表一人とバスケレル神父をして私運信者十七人を加えて小さなマイクロバスで共に吹雪の中を長崎へ出発した。寒かつた野外ミサなどの想い出は彼らと共に永遠に心の中に残るであらう。この五年の間に、当初のボートピープルの人達は口々に「天国で逢いましょう」と言葉を残して、アメリカ・カナダ・グアム・オーストラリアにそれぞれ出

が当初の頃の主なお世話であった。思つ。しかし、それ以上に彼ら初直接世話する日本大法蘭の園長初職員の方々の「苦勞は大変なものであった」と聞き及んでい。なせ言葉が全く通じない(多少英語が通じる程度)こと生活習慣及び国民性の相違によつて、彼等の世話には言語に絶するものがあつたに違いない。その中彼らも園内で生活に馴れて来ると共に私運信者の気心をお互いにかわらううになり、その年のクリスマスには彼等全員をミサとその後のパーティに招待し一緒にラブを祝つたもので、現在までその行事は続けられて居る。又教皇様来日の際の長崎市における野外ミサに参加するため、彼らの代表一人とバスケレル神父をして私運信者十七人を加えて小さなマイクロバスで共に吹雪の中を長崎へ出発した。寒かつた野外ミサなどの想い出は彼らと共に永遠に心の中に残るであらう。この五年の間に、当初のボートピープルの人達は口々に「天国で逢いましょう」と言葉を残して、アメリカ・カナダ・グアム・オーストラリアにそれぞれ出

が当初の頃の主なお世話であった。思つ。しかし、それ以上に彼ら初直接世話する日本大法蘭の園長初職員の方々の「苦勞は大変なものであった」と聞き及んでい。なせ言葉が全く通じない(多少英語が通じる程度)こと生活習慣及び国民性の相違によつて、彼等の世話には言語に絶するものがあつたに違いない。その中彼らも園内で生活に馴れて来ると共に私運信者の気心をお互いにかわらううになり、その年のクリスマスには彼等全員をミサとその後のパーティに招待し一緒にラブを祝つたもので、現在までその行事は続けられて居る。又教皇様来日の際の長崎市における野外ミサに参加するため、彼らの代表一人とバスケレル神父をして私運信者十七人を加えて小さなマイクロバスで共に吹雪の中を長崎へ出発した。寒かつた野外ミサなどの想い出は彼らと共に永遠に心の中に残るであらう。この五年の間に、当初のボートピープルの人達は口々に「天国で逢いましょう」と言葉を残して、アメリカ・カナダ・グアム・オーストラリアにそれぞれ出

- 七・八月命日の司祭
- ▼ヤコブ平田勇神父(一九八〇年七月二十日元西新教会在任)
- ▼ヨゼフ・フルトン神父(パリ外国宣教会 一九五七年七月二十五日元呼子教会在任)
- ▼ヨルジュ・ラクレ神父(パリ外国宣教会 一九八二年七月二
- 十五日元湯川教会在任)
- ▼ルネ・ルリエ神父(パリ外国宣教会)一九七〇年七月二十八日元本城教会在任)
- ▼エミール・ベノア神父(パリ外国宣教会)一九六二年八月六日元門司港教会在任)
- ▼パチフィコ・マルケシーニ神父(フランシスコ修道会)一九八〇年八月八日元熊本待病院附)
- ▼アルベルト・ブルトン司教(パリ外国宣教会 一九五四年八月十二日元福岡教区)
- ▼ジョン・オサリバン神父(コロロバン宣教会)一九八二年八月十二日元熊本教区)
- ▼ミカエル木村義巳神父(ラザール・マリノガ教区)一九六七年八月十四日元鹿渡島教会在任)

が当初の頃の主なお世話であった。思つ。しかし、それ以上に彼ら初直接世話する日本大法蘭の園長初職員の方々の「苦勞は大変なものであった」と聞き及んでい。なせ言葉が全く通じない(多少英語が通じる程度)こと生活習慣及び国民性の相違によつて、彼等の世話には言語に絶するものがあつたに違いない。その中彼らも園内で生活に馴れて来ると共に私運信者の気心をお互いにかわらううになり、その年のクリスマスには彼等全員をミサとその後のパーティに招待し一緒にラブを祝つたもので、現在までその行事は続けられて居る。又教皇様来日の際の長崎市における野外ミサに参加するため、彼らの代表一人とバスケレル神父をして私運信者十七人を加えて小さなマイクロバスで共に吹雪の中を長崎へ出発した。寒かつた野外ミサなどの想い出は彼らと共に永遠に心の中に残るであらう。この五年の間に、当初のボートピープルの人達は口々に「天国で逢いましょう」と言葉を残して、アメリカ・カナダ・グアム・オーストラリアにそれぞれ出

## 飛脚

六月十二日午後一時半から、司教館新館で教信使徒協議会の役員会が開かれた。さきに教区事務所から「たまたま」として提案されている巡行行事計画について討議したが、教区聖年大会開催については二つの意見が出た。教区聖年大会、本化開催と、各地

**信頼に誠意と技術でこたえる**

## 株式会社 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵 三 満  
福岡支店長 藤池 内

福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。  
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険疾病

福岡市博多区中洲5-4-12  
A I U福岡ビル内  
大石保険事務所 大石 真 澄  
〒810 TEL 272-0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

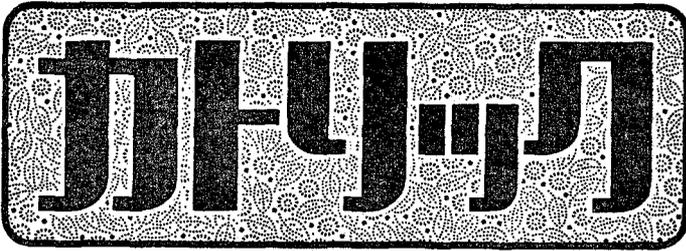
社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23  
TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東 陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568



平田 司教 認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 発行兼人 山田 成章  
 編集 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

折禱の使徒会  
 (一般) 成人の教理研究  
 (布教) マレーシアにおける教  
 会

### 世界的に高まる戦争反対の声 平和の意志を行動で示そう 平和旬間のミサと講演

日本司教団が決定した平和旬間(八月六日~十五日)の実施に、福岡教区は、各小教区に対して、福岡教区は、各小教区に対する八月七日の平和祈願ミサの要望と司教座聖堂での司教による平和ミサならびに講演会を予定していたが、このたび、平和に関する教区行事の小さな動きとして実行された。

八月七日(日)午前九時から、大名町教会で平田司教は平和祈願のミサを行った。二百人の信徒を前に、「今日平和のいろいろな運動やゼスチアが見られるが、平和の意志を行動で示そう」と説教した。

ミサ後引き続き、講演が開かれた。講師は、長崎市小峰町の聖フランシスコ病院内科医長で長崎原爆体験者でもある秋月辰一郎先生である。「原爆体験と最近の平和問題」について話す。想像を絶する原爆の恐ろしさは、体験者



平和講演会

### 九月の聖体礼拝当番教会

九月 四日 湯川  
 九月 十一日 飯塚  
 九月 十八日 水巻  
 九月 二十五日 直方

でないと十分に理解できないといわれるが、確かにその通りかもしれない。しかし、恐ろしい片鱗を知ることは不可能でない、恐ろしい一部を知って平和運動や反核行動に走る者、暴徒呼ばわりすることは許されまい。戦争や原爆の実情をよく知らないという理由で、平和に対する消極的姿勢に留まることはどうであるか。今日の国際情勢は、平和への提言だけでなく、行動することを要求している。世界の危機、人類の滅亡は智恵ではない、剣ヶ峰に立っているのである。世界を股に平和巡礼を続ける現教皇の意向を見習い、明日の平和のために行動しよう。

### 飛脚

☆梅雨明けの七月二十四日(日)に、大橋墓地の清掃が行われた。午後一時半からの予定なのに、早くから来て広場の草取りをする一団もあった。定刻、鎌、鋏、草刈り機、熊手などを持ち、除草や掃除のために四方に散って行った。炎天下の努力奉仕で、皆水を浴びたように汗びっしょり。しかし、一三〇余人の労働は、さすがの広い墓地をもきれいにしてしまう。三時頃、祈りをもって散会した。

### 微光

今年もまた台風の季節がやって来た。人々は台風の進路に戦々恐々として、日頃天気のことなどあまり心にとめない者が、新聞テレビの天気予報に一喜一憂したりする。台風という大自然の猛威の前に人間の無力さを感じ取り、ただ自然の暴力に対する最少の被害にくいとめるために家を補強し、船舶などを安全な所に避難させ、出来るかぎりの手立てをとる。台風の備えることだけである。台風のよつに目に見えて接近して来るものに対しては、人間は万全の備えをしようと努力する。しかし一番大切な救いというものに対して、それほど心をくだいているだろうか。人の子はいつ来るかわからない。キリストの再臨が台風の進路のように人の目に見え、あつ何日でも来るさるかわかぬなら、私たちはそれほどのんびりすることなくキリストを迎える準備に入らなくてはならない。キリストの再臨の時、一人ひとりの備えが必要になる。平生の覚悟が大切であらう。「備えあれば憂いなし」と古人は言ったが、まさにそのとおりである。台風に対する万全の備えをしておれば、最少限度に被害をくい止められる。そのように人間にとって一番大切な救いについても、日頃の備え、覚悟が肝要なのだ。心をいつも清く保ち、聖体によってキリストに一致し、その教へと模範にならひ実行しよう。今の時を大切にしながら、希望に向かって一歩前進しよう。(松井)

**シオタ** 小まわりのきくアフターサービス。

営業品目  
 オフィスコンピューター・パーソナルコンピューター(マイコン)・POSTERミナル・ワードプロセッサー・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフィス家具、問仕切

コンピュータと複写機・事務機器の商社  
**(有) シオタ事務機**  
 福岡市南区大楠2丁目13番21号  
 〒815 TEL (092) 521-8266 (代)

代表取締役 堀吉 田五郎  
 取締役営業部長 堀吉 田五郎

**熊本石材株式会社**

熊本市島崎4丁目2/68

電話 52-3306  
 52-8622

# 下五島の古い教会を訪ねて 雑草のような強い信仰の証し

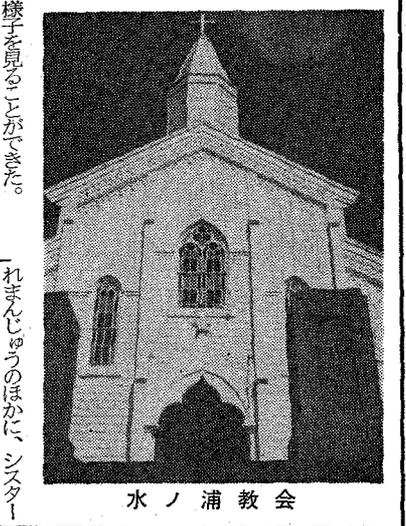
## 山田 成章

七月三十日、老司教会主催の下五島巡礼団に参加を許されて、勇躍板付空港に車を走らす。五島は未知の土地、修学旅行を迎えた生徒のような心ときめきと興奮を感じながら、出発の時待った。空港に勢揃いした二行の顔ぶれには初面の人もいたが、一薄託生の航空機の旅では、すぐに長年の知己を得たような仲間になる。

いよいよ、わたしたちの生命を預けるYS11プロペラ機に搭乗開始である。やがて十分後正確には午前十一時十分、エンジン始動

二エル三・七四一七八)を美感的に思い浮べた。福岡を発つて四十五分、福江空港に着く。地上の景観にみとれて、あつたこの間の空の旅であつた。すでに空港のそばには、巡礼陣の一行を案内する食切バ

なだらかな坂を三分ほど登りつめると、緑林をバックにした明治・大正初期建築にみえる煉瓦造りの教会が迎えてくれる。古風で重厚な教会堂は、かつて迫害と生活苦を生き抜いて来た信者たちの心意気を物語っているみたい。教会正面に向かって左隣に、目指すルルドがあつたが泉が見当たらない。何のことはない、現代風化され



水ノ浦教会

燃える重油のかまどから救出された三人の、アザリアと仲間たちが捧げた詩「大地は神を賛美し、代々に神をほめたたえよ。山と丘は神を賛美し、地にはえる草木は神をたたえよ。泉の水は神を賛美し、海も川も神をたたえよ」(夕

下五島地区のカトリック教会は巡回を含めて二十一といわれているが、司祭居住の教会はわずか八つにすぎない。また、長崎教区のカトリック人口七三、一五一人に對するこの地区の信徒数は、何五、〇五六と発表されている。何よりも、この地区の司祭たちに司牧上の苦労が察せられる。

浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。

下五島地区のカトリック教会は巡回を含めて二十一といわれているが、司祭居住の教会はわずか八つにすぎない。また、長崎教区のカトリック人口七三、一五一人に對するこの地区の信徒数は、何五、〇五六と発表されている。何よりも、この地区の司祭たちに司牧上の苦労が察せられる。

浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。

浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。

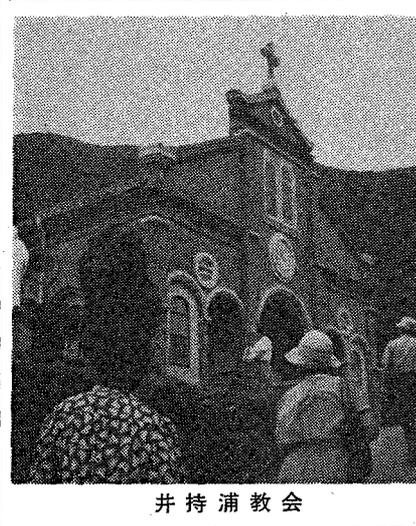
浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。



堂崎教会

浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。

浦頭の巡回である堂崎教会は、五島最古の聖堂で、明治中期のものと云ふ。長崎原の有形文化財に指定されており、観光客は入場料を要求される。午後六時半頃、ミサを捧げ、巡礼の無事を感謝した。福江市内のホテルに一泊した翌日は、福江教会で浜口主任司祭と羊館)の二階の部屋では、婦人会ダイキン、山田師の共同ミサがあり、喜びのうちに帰路につく。



井持浦教会

総合建設業  
**八千代建設株式会社**  
取締役 社長 田中 清  
取締役 副社長 渡辺 勝三郎  
〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく  
**(株)メガネの正視堂**  
代表者 フォンシスコザビエル 臼井芳数  
行橋市駅通り本店 電話 2-0646  
" 駅前5秒店 電話 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
" ダイエー城野店3階 電話 922-5637







# 神と人との平和の出会い 恒例の福岡黙想の家の催し バザー・講演など盛沢山

＜祈りの集い＞

光ヶ丘教会	午後十時	十時半	合
光ヶ丘教会	午後七時半	七時半	出
老司教	午後七時半	七時半	出
刷新のため	午後七時半	七時半	出
いまいましい	午後七時半	七時半	出
ください	午後七時半	七時半	出

福岡黙想の家が、九月十二、十三日、平和の集いを催した。例によって盛沢山のメニエが用意され、一五〇人位の入出があつて盛会であつた。中でも、永井隆者「この子を残して」が映画化され上映中とあつて、その遺児永井誠一氏の講演は注目された。「まさかと思つた」との演題で語る永井氏の在りし日の父母像と長崎原爆落下直後の永井家の生々しい模様を、一部抄録の形で紹介してみよう。

私は時事通信社の編集者としてこれまでやって来ました。親父が死んだのは、昭和二十六年で当時四十三歳でした。私はもつ彼の歳を越し、四十八歳になつてしまいました。

先ずまさかと思つたのは、昭和二十八年八月九日の午前十二時二分あの原子爆弾です。この集いは

私も八月十五日に三ツ山の教会で「ミサに与りましたけれど、浦上方面から来られた信者の方々に一杯になりまして堂内に入りきれませんでした。半面、連合軍が上陸して戦闘状態になつてしまつたも飛び交ひ、お祈りも何となくサワフとしたものでしたから、そのよつになりませぬようにと祝つた記憶があります。肝心の浦上の状況ですが、新型爆弾で燃えつくされ破壊されているというところを聞きまして、その日九日の午後、けがした人々や半身裸となり、狂乱状態の山の方に向かう沢山の入々と行き交ひ、私も妹も父親の帰つてくるのを待つような状態でした。十七日頃でしたが、けがした父親と病院の人たちが八人くらいで登つてきて、ホツとしましたが、肝心の母親は上野町の突撃で爆死したといふことでした。その前に私のおおあきと遺骨をもつて帰つて来ておりました。それは大きな缶の中に入れて、最初は解りませんが、だんだんそれが遺骨だと解りました。一刻も早く浦上の現場に入りたかつたのですが、子供は駄目で、祝日の翌日十六日に現場に入ったと思ひます。

組織の中に入った人でした。かなり厳しく、特に口答するとヒンタの二つや三つが飛んで来た。半面律義な性格で、自分かやるといつたことばを、約束もよく守つてくれた。また非常にユーモラスに入を笑わせ、子供と一緒に遊ぶといつた一面もありました。紋付袴で、ターザン映画などに連れて行つてもつたこともあります。一年間の喪に服していた頃でした。髪も頭もボロボボという有様でしたが、多くの人にシロシロ見られ、ちがが恥しくなりました。草野球にも連れて行き、プレイするのを楽しみ、最初から最後まで徹底してやるこの心を教えてくれました。

ある日曜日、ミサに行き午後から聖体降福式教会に再び行かねばならなかつたのですが、私が野球に行きたくて、ミサの時間がきてもくすくすしてしまつたら、父は「何を言っている、何故ミサに行かんか」と云つて起き上がつて怒りました。私はひっそりして走つて教会に行きました。後でおばさんの話を聞いたところ、立ちあがったのが非常に、たまたましく、津江がひびいても苦しんだそうです。立ちあがった親父を見たのはそれが初めてで、それはずつと歩いてはしかつた。父は普段の生活は「食事もやんとする」ことができたが、風呂や便所などが大変でした。

五月一日メデーの日、浦上辺りも赤旗が乱立しメデーの歌が聞かされてきました。容体が悪化して、信者の方々に運ばれてその日の午前中入院することになった。途中に浦上教会に立ち寄り、自分の古巣である長崎大学病院に戻つたのです。夜になって突如として「イエス・マリア・ヨセフ祈りしてください」といふことばを最後に、亡くなりました。九時五十分でした。

父は聖母の騎士の神父さんや修士の方たちと関係が深く、またヒンセンシオ・ア・パウロ会の活動に熱心だつたところから、より以上の力が発揮できたのだと思ひます。特に聖母の騎士会とのつきあいが若い時から深く、コルベ神父さまを知り、ゼノ修士と仲の良いい関係でした。毎金曜日訪れるゼノさんが「天国行きの手紙を買いましたか」といふと、親父は「買つていません」とやりとりしてました。五月一日に死んだ父の葬儀は、浦上天主堂でありました。私が高校一年生の時です。学年の生徒全員が葬式にきてくれました。

母とは八月六日に別れたわけですが、非常に気性の激しい人で、今生きていて七十五歳になつたときにかく三十八歳時、やうり手の人でたまたましたり、物ごとを教わりました。中でも口答を教つたことについては、親父同様はげしく怒りました。口でいふ前に、手が飛んできました。母は田畑を耕して食糧を作り出すことに一生懸命でした。夜になつて若い人を集めて、お花、お茶、編物、料理などを教えておりました。被爆者の苦痛は深い。

**十月命日の司祭**

▼エミール・ラゲ神父(パリ外国宣教会)一九二九年十月三日福岡司教館

▼ジャン・バプティスト・ド・ラビ神父(パリ外国宣教会)一九六七年十月十三日元黒崎教会主任

**香典返し**

故大島ユフヨさんの香典返しとして、山下恵子様から、カテドル建設資金に金一封の寄贈がありました。

**総合建設業**

## 八千代建設株式会社

取締役社長 田中 清  
取締役副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

代表者 フォンシスコザビエル 臼井芳数

行橋市駅通り本店 電話 2-0646  
" 駅前5秒店 電話 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
" ダイエー城野店3階 電話 922-5637

### 司祭修道者への認識を深める 福岡教区の青年召命学校

九月十日午後八時から十一日まで、御受難会の黙想の家で、二泊三日の「教区青年召命学校」を催しました。福岡、北九州、佐賀の各地区より三十一名の男女青年、八名の司祭、シスター、教区大神父生を交え、楽しい雰囲気の中で、真剣に、「司祭修道生活について」また、「今、青年として問われていること」についてお互いの意見をだし合い、理解を深めることができた。一日目は、自己紹介とヒルデン神父(笹丘教区)、下町神父(小神学校)、シスター池田(女子聖パウロ会)の三人の召命体験発表があり大きな感銘を受けた。

二日目は、先のテーマにもとづいて、午前、午後、の二回、グループディスカッションをして全体発表などを行なった。また、この日の十二時から、平田司教様司式、共同ミサが行われ、召命について考え、この出来たことを、司祭、修道者について理解を深めることができた。福岡、北九州、佐賀の各地区より三十一名の男女青年、八名の司祭、シスター、教区大神父生を交え、楽しい雰囲気の中で、真剣に、「司祭修道生活について」また、「今、青年として問われていること」についてお互いの意見をだし合い、理解を深めることができた。一日目は、自己紹介とヒルデン神父(笹丘教区)、下町神父(小神学校)、シスター池田(女子聖パウロ会)の三人の召命体験発表があり大きな感銘を受けた。

この集いの自由な時間には、司祭、修道者を中心にあちこちに輪が出来、笑いのたえない、なかなか集いの中で、お互いの立場少しも理解しあえたことを神に感謝し、召命学校のために、配慮下さった神父様、シスター、神学生信徒協のみなさまに心からの感謝をいたします。

青年たちが、教会の中で若い力を発揮し、司祭、修道者、信徒の一致のもとに、神の国の建設のために一人ひとりが与えられたタレントを生かし、召された道を力強く歩むことが出来るよう祈りを願っています。(文責松井)

### 福岡レジオ・マリエ黙想会

福岡レジオ・マリエ黙想会は、九月二十三日から二十五日までの三日間、御受難会の黙想の家で、大坂セオートの指導司祭あり、日本におけるレジオの指導者として第一人者である大阪教区の前田神父様を迎えて開かれた。福岡はもちろんだが、腰尻島、長崎の各県より、三十一名のレジオ会員が参加した。レジオ・マリエ提婆にもとづいて話される、説教師の熱意に満ちた話しに深い感銘を受け

る。同時に、レジオの活動の奥深さを感じさせられた。レジオ会員としての自覚と活動に対する責任心と呼び起され、会員として、聖職者の使徒職にどう協力すべきかを深く黙想することが出来た。レジオ・マリエとは、全世界に賛助会員を含め約一千万人の会員を有する、カトリック教会内の最大の信徒組織の一つであり、一九二二年にタリンで創立された「のメリア軍団」の目的は、会員自

身の聖化と他人に対する愛徳の実践であり、病人や家庭の訪問、教会学校の教師やその他教会内外の奉仕、聖職者の使徒職への協力など幅広い活動を行っている。隣りの韓国では八万の会員がいるのに対して、日本ではまだ僅かな会員しかいない。自己の聖化と人々に対する愛徳の実践のために、この日本でもこの活動が幅を広め、多くの会員が増えるように願っている。

### 会合と催し

- 10月3〜7日 パリ・ミッション 会合と催し
- 8〜9日 サン・モルル会九州地区大会
- 8〜10日 CLC九州大会
- 10〜15日 邦人司祭黙想会
- 16日 黒崎教会聖信
- 18日 サン・モルル会福岡到普五十周年祭
- 23日 天草殉教祭
- 30日 熊本地区聖年大会 佐賀地区長崎巡礼

- 10月3〜7日 パリ・ミッション 会合と催し
- 10〜15日 福岡教区司祭の黙想会
- 15〜16日 笹丘教会青年の黙想会
- 23日 サン・スルビス大神学院司祭の静修
- 23〜29日 サレジオ会の黙想
- 29〜30日 福岡聖葉学園、中学生黙想会

### 飛脚

☆近日中に、熊本市龍田町削字上の窪に龍田小教区が設置され、教会建設がはじまる。四百坪の敷地に礼拝堂四〇坪、司祭館三七坪の敷地予定である。五〇人前後の信徒の共同体から出発する。

☆結婚講座(福岡地区)が、八月二十五日から九月三日まで司教館新館であり、二十七人が出席(内七人は信者)し来賓も喜びの日に備えた。医師による「生命のしるび」の講話、新婚生活の体験談(家庭経済、結婚におけるキリストの道(中村神父)などが語られる。

### 共産政権下のポーランド信者 橋本久太郎氏(信徒)の講演

九月二十二日午後四時から、福岡サン・スルビス大神学院で、ポーランド在住の橋本久太郎氏(ポズナニ大学言語学教授五三歳)の講演があった。

共産党治政下にあるポーランド国民は三千八百万人、大多数はカトリック信者である。この国の教会は、全国に二七教区を有し、それぞれに大神学校を設置して司祭の養成に当たっている。カトリック教会は共産党の平和共存(?)は、敵い環境にもめげず一応保たれているらしい。勿論、するどい対立は到る所に繰り返されているが、最後の線は何

有意義な催しとして感謝されている。☆一九八一年度のバチン統計発表によると、世界の司祭総数は四十二万二千七百八十八人、このうち教区司祭が二十五万五千九百七十七人、修道司祭が十五万五千九百七十七人である。アフリカ全土で二万七千五百七十八人、アメリカ大陸(北米、中米、南米その他)では十二万二千四百九十九人、アジアは二万七千五百九十八人、ヨーロッパは二万四千二百八十八人、太平洋で五千六百四十八人となっている。司祭の増加を辿ると、一九七九年の五千七百六十五人に対し一九八一年の五千八百八十九人となり、やや上昇気運が出ている。しかし、一九八一年の死亡司祭が六千八百四十六人であることを念頭に置けば、同年度の国民相互の挨拶は、イエス・キリストに賛美——代々に至るまでが交換される。信仰心は格別高く、教会の信心行事には積極的に参加している。日曜日のミサ参加は、若者男女の区別なく、自主的に行われていることがわかる。ポーランド教会と家庭の徹底した宗教教育(信者に対する)は、いかなる迫害にも拘らず強固な防波堤となっており、国民の心を赤い魔手から保護してくれている。

司祭の實質的な増加はなく、九百五十七人の減少である。司祭の選俗数では、一九七九年の二千五百六十七人に比し一九八一年の二千二百六十八人で、いくらか下降線を画しているが残念である。では将来の司祭補充は、明らかな展望を見ざるやうか。大神学生が六万八千六百三十三人、一九七三年の六万三千七百九十五人を若干越し微増が差しているようだ。これをさらに五大洲に分けて考えれば、アフリカ六千九百五十八人、アメリカ大陸一万四千三百四十六人、アジア一万二千四百九十九人、ヨーロッパ二万四千三十二人、太平洋が八百五十一人である。司祭召命の道は険しいが、信望・愛をもつて召命の豊かな実りを祈らずにはおられない。(注・バチカンの世界的な統計発表は、二年遅れで示されるのが常である)☆八月二十八日午後一時半から、教区信徒協役員会が司教館で開催され、出席者十人であった。来年三月予定の教区聖年大会についての意見の交換が行われた。

Custom Tailor

**永洋服店**

福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

**祭壇・洗礼盤他**

石のパイオニア  
**高木石材株式会社**  
〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

石石他  
理影の  
大御そ  
素材

# 教師としての神との交わり キリストが教える人間像とは 福岡教区幼教連の研修会

福岡教区幼児教育連(会長・伊東誠二神父)は、八月二十一日から二十三日間、熊本県阿蘇郡小国町立の本ホテル「ひぜん屋」で研修会を開いたが、三〇〇人の参加者で、盛況の中に終わった。

いまここに、その集会以好評であった講話「教師としての神との交わり・鈴木忠二神父」の一部を掲載する。

福岡教区のカトリック幼稚園・保育園では、一万人以上の子供たちを預り、またその子たちの家族と関わりを持つていることを聞いて大変びっくりいたしました。

先生方皆様の手に一人ひとりの大切な幼児期のいのちが委ねられて、それが大きな美を結ぶ、というお仕事をされているのを知り、尊敬とつらまじい気持ちでいっぱいです。

## カテドラル建設 促進のためのバザー

主催 カトリック福岡地区婦人会  
日時 昭和58年11月13日(日)  
10時30分  
場所 大名町カトリック教会  
教会の皆さんのご協力をお願いいたします。

「トを師と仰ぎ、神さまと交わりを深める生き方です。『教師としての神との交わり』を目標と一緒にご覧にあたって、このイエスさまをどのように受けとめるべきかをお話ししたいと思います。

キリスト教がこの世に現れたのは、三千年も前のこと、そして今日世界中心の国にもキリスト信者がおります。キリスト信者は父なる神を信じ、神のいつくしみに感謝を捧げ、イエスが教えたように生きることを望んでいる者たちです。

キリスト信者はキリストの教えが何であるか、聖書と教会を通して一応は知っている。でも、キリストの教えの本質は何か、自分にとってキリスト信者であるとはどのようなことをか、一生の間、たえず問い続けて成長していく者たちでもあります。子供でも理解できる単純な真理でもありますが、深い学識をもつ人たちが生涯かけて追求していくほど無限の深さをもった課題でもあります。

キリスト信者はいつもこの単純な真理を生きている者です。また生涯の課題に答えながら唯一の師イエスを発見し、喜びのうちにイエスを深める旅の途上にある者でもあります。新約聖書のマルコ福音書(八・二七—三〇)には、イエスが弟子たちに「この根本的な問いをつきつけている場面があります。(27)『イエスは、』

「あなたたちはわたしを何者か、ペトロが答えて言った『あなた方はシムスです。』」

一体、イエスという方は何者なのでしたか。私にとってなぜ私の幸せの源となる方なのでしょう。イエスの教えの根本は何でしたか。それは現代に生きる私たちにどんな意味を持つものなものでしたか。イエスは、ある日、大勢の人びとにこうおっしゃいました。「自分の貧しさを知りたい人、天の国はその人のものである。悲しむ人は幸いである、その人は慰められるであろうから……」さらに、柔和な人、義に飢えかわく人、あわれみ深い人、心の清い人、平和をもたず人、義のために迫害される人は幸いであるとおっしゃいます。

私には、実際にこのように考えません。むしろ現代人の幸福はイエスの言葉と反対のことを強調しているように思われます。貧しい人よりも裕福な人、何不自由のない人を幸せと見ます。悲しんでいる人よりも嬉しむ喜びを他人を押しつけて生活力のある人が、何かに飢えかわいている人よりも、何かに満ち足りている人が幸せと思っています。さらに、あわれみ深い人よりも自分の権利を主張する人、心の清い人よりも濁りあわせた飲む位の生活力のある人が、平和な道を歩む人よりも他人を出しめくらいつく思っている人、迫害される人よりも力のある人にするのが世間の常識というものです。若い皆さんは、これからの結婚相手を見つづける基準からいって、以上のことは当然だと思われなくてはならないでしょうか。

しかし、イエスの考えるほんまものではないのでしょうか。少なくとも世間の常識であること、押し出して生き続けたいとごんごんと求めるか、自分の幸せだけを追い求めたところから私たちが生きている現実を見ます。経済力だけでも想像はできません。経済力だけを考えていた日本のある時期、アジアの都市で開かれた会議に出席した方の話しが印象的でした。

その人はたまたま日本人であるため、その時他の国々の人々からは相手にされなかつた。食卓を共にすることすら、拒まれたというのです。なぜなら、アジアの国々の人たちは、日本に憧れているから、日本は絶対損をしない人だから、と。そんな民族に属している人とは、心を開いて手をつないで歩くことはできない、というのです。痛い話です。

私たちの生き方が問われて幸せのほんまのの意味が現れるわけですが、日本にも度々お出でになっているマザーテレサのお話しによって出てくる出来事をもっと感動的、徒の四歳の坊やの話です。マザーテレサのころの貧しい子供たち、砂糖がないと学校でできたの

### 新刊書案内

「主よ、地の表を新たに」  
フランシス・サリバン著  
カリスマ刷新全国委員会編・訳  
刷新が聖霊の働きによることを信じられるならば、また刷新の必要性を感じているあなたに、是非一読をすすめた本である。

ウエリタス出版社(一、二〇〇円)

「その坊やは三日の後小さなビンに入った砂糖を私のところを持つてきました。家で三日間、砂糖を食べなさいとためてきたといのです。これは小さな行儀ですが、豊かな愛、痛い愛を教えてくださいました。」マザーは霊の中からありあまる物の中から分ち合つことはできない。ないものを分かちあつことが大切だ、なくても与える態度が美しい生き方だと教えてくれます。だから何事でも人から自分にしてもらいたいことを人にもしてあげなさい」とイエスは言っています。

信頼に誠意と技術でこたえる



## 株式会社 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵 三 満  
福岡支店長 藤池 内  
福岡支店 福岡市博多区博多駅南 4-18-2 電 (092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。  
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険疾病

福岡市博多区中洲 5-4-12  
A I U福岡ビル内  
大石保険事務所 大石 真澄  
〒810 TEL 272-0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

社長 松尾 光敏

北九州市若松区藤ノ木 1-4-23

TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568



### 福音を伝えられるようになろう 家族参加で百四十人集う 第九回CLC九州大会

去る10月8日から10日の3日間、第九回CLC九州大会(大司教司祭の指導)が、福岡市中央区浄水通38 TEL092-531-6821)までご連絡ください

【入学条件】

- ① 司祭職を希望するカトリック信者の男子(中、高生)
- ② 主任司祭の推せんが必要
- ③ 中1から入学する者は、泰星中学校の入学試験に合格すること(※途中編入も可)

福岡小神学校担当司祭  
竹森 勇 下町 豊重

### 小神学校入学生徒募集

小神学校入学を希望する者は、下記の条件が必要であるが、主任司祭と相談の上、福岡小神学校(〒810 福岡市中央区浄水通38 TEL092-531-6821)までご連絡ください

#### 【入学条件】

- ① 司祭職を希望するカトリック信者の男子(中、高生)
- ② 主任司祭の推せんが必要
- ③ 中1から入学する者は、泰星中学校の入学試験に合格すること(※途中編入も可)

福岡小神学校担当司祭  
竹森 勇 下町 豊重

第2日目は、長崎の阿神父の指導による朝の黙想で始まった。集い(2)「愛」で、リバス神父は、「愛の喜びを通して、自分の喜びを伝えることにより、他人の喜びを分かちあうことが福音を伝えることだ」と話し、「オリーブの自分(4)」から始まるようにと語った。その後、信徒の体験発表があり、グループの分かち合いで自分たちのまわりにいる人々がどんな悩みを持っているのか、そして、その人々の悩みや問題にまづ関心をいだくことの大切さを分かち合った。

昼食時に平田司教様がおいでくださり、食事を共にし、その後の講話の中で、「頭で考え、理屈づくの信仰ではなく、実践し、生活体験の中で高めあっている信仰共同体CLCの皆様へ、おしなない支援と祝福をいたします」と参加者を励ましてくださった。

昼食後の集い(3)「関わり」では、まず、信徒の体験発表があり、グループで、具体的に未洗者とのような関わりができるかを、信者と未洗者の考えのちがいやその原因などを探りつつ分かち合った。夕食前には、ミサに与り、皆が心をひとつにして集まっていることの喜びを神に捧げ、聖霊の助けをたぐさんの恵みを神に願った。夕食後、集い(4)「生き方」では、CLCパンフレットを用いてCLCの簡単な紹介をし、集い(5)「選」では、①コミュニケーション②霊操、③聖歌の3つの分野

に分かれ、各自関心のある分野に参加した。コミュニケーションで、参加者以上の人が希望したこと、支えあひながら養成されたこと願っていることがよくわかった。2日目も一日同様、夜の祈り、一日の見直しで終わったが、特に心の動きを中心に自分を見直した。

第3日目、朝の黙想・朝食の後、「唇を開く大集会」として、参加者全員が「大集会を通して何を得たか」をひとことずつ分かち合った。多くの人が、福音宣教の何らかのヒントを得たように、発表する時の顔が輝いていた。そして、身障者の方が不自由な口で一生懸命話そうとするのを、皆が一生懸命理解しようと耳を傾けていたのがとても印象的であった。参加者全員が心からクリストに向いて、ひとつになっている中で、「派遣のミサ」がはじまった。

ミサの中で15名の仲間が有期奉獻をし、神と仲間と1年間を捧げることを誓った。その後、昼食を共にして、全日程を終え、各自喜びと希望を胸に各地へ派遣されて行った。

ふかかそってみると、今大会は、準備段階から特別な恵みが与えられた。まず第1にパンフレット配布に関して、東京のABBA(アッパ)CLCの援助協力が得られたこと。この大会が全国の多くの仲間、祈り援助に支えられていることが実感された。第2に、直方教会から鶴野神父はじめ、全教区的な協力をいただいたこと。特に青年たちの動きはすば

らしかった。第3に、ベテリスター(信徒奉仕者)を十分確保でき、20人もの子供たちを受け入れられたこと、思いがけない方法で一四〇名もの参加者を集めてくださったこと。そして何よりも援助修道会のシスター方が快く会場を提供してくださり、全面的に(朝食の味噌汁がおいしかった)協力してくださったこと。心から感謝すると共に、本堂にたない信徒の活動に心をかけてくださっている神の暖いまなこに感した大会であった。なお、来年の九州大会は、熊本で開催が予定されている。(文責・追立)

★歴代オブレート会の司牧下にある福岡市博多区光丘町の光丘カトリック教会(主任「ウエンチェ」スオ・ラモタオ神父)は、十一月二十日(日)、創設三十周年の記念式を祝う。九時三十分から平田司教による記念ミサと厳格式が行われ、その後協議会となる。

この教会は、昭和二十八年九月十四日に創立された。初代主任はマックローリン(オブレート)神父であった。現在の信徒数は七百三十八人で、中堅どころの小教区として活躍している。

★十月二十三日、本渡市観光協会主催の天草殉教祭が行われた。平田司教も出席し、午後一時から殉教公園で慰霊のためのミサをさげた。天草の信徒中心に二百五

### 飛脚

燃想会へのおさそい

とき	11月26日(土) 19:00から 27日(日) 17:00まで	とき	11月23日(水) 9:00~16:00 (懇談会11月22日19:00)
ところ	福岡黙想の家 鈴木、マテオ両神父	ところ	福岡黙想の家 マテオ神父
指対	男子と刷新のために 腕いと福岡黙想の家	指対	一般男女信徒 福岡黙想の家
申込	福岡黙想の家 3,500円	申込先	司教館Br杉山 電話522-5138 500円 宿泊参加者2,500円
費用		費用	

十人ほど参加した。近くのキリシタン墓地公園には、天草の殉教者アダム荒川の記念碑が建っているが、列聖の名簿に入っていないのは残念なことである。

★十月二十三日午後一時半から、第一回教区聖年大会準備委員会が開かれ、十八人が出席した。平田司教は天草殉教祭参加のため欠席したが、聖年大会の大筋のスケジュールに出席者の合意を得、あと二回は司教の承認を待たせたい。次回の準備委員会は、十一月十九日(土)午後三時から、前回と同じ福岡司教館で行う。

## 総合建設業 八千代建設株式会社

取締役 社長 田中 清  
取締役 副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

### (株)メガネの正視堂

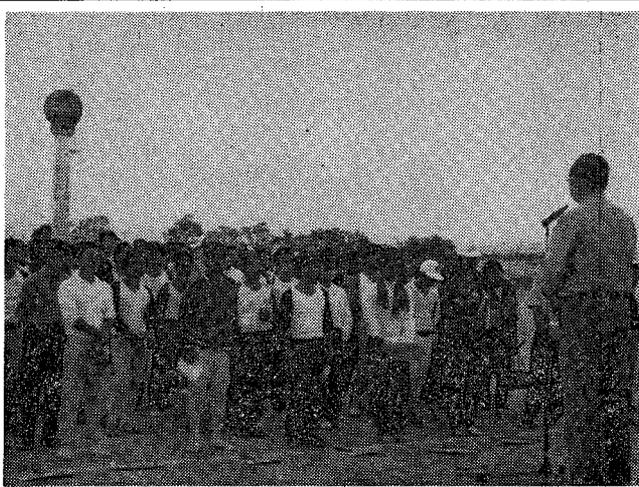
代表者 ファンシスコザビエル 臼井芳数

行橋市駅前本店 電話2-0646  
" 駅前5秒店 電話2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話641-4321  
" ダイエー城野店3階 電話922-5637

# 北九州信徒の親睦と一致を ソフトボール大会を通して

十月九日(日)は、前後来の雨も上がり、絶好の運動日和となった。北九州のソフトボール大会が地域の信徒の親睦と一致のため、新田原教会グラウンドで開かれた。北九州市内はもとより、その周辺の教会から多数の参加者を得、親善の雰囲気作りは上である。八王寺、戸畑、若松、門司、湯川と、水巻、行橋、豊津(二)、新田原(四)の十四チームを結成して大会に臨んだ。

先ず九時から、新田原教会で、一致と感謝の祭典である。ササと、大会の主旨のために祈る。午



北九州信徒有志のソフトボール大会

新田原教会の信徒のみならず、深くお礼を申し述べたい。今後とも、この集いが、信徒の絆として発展して行くことを切に祈る次第である。(吉竹)

## 会合と催し

- ☆平田司教
  - 11月6日 幼きイエズス会創立者の逝去百周年祭
  - 8日 菊池聖母幼稚園の二十周年記念式典
  - 13日 西新教会堅信
  - 15日 九州地区司教会議
  - 16日 サン・スルピス大神学院祭、スルピス会来日
  - 20日 五十年祝
  - 光丘教会堅信・三十周年

- 年祭
  - 20~22日 福岡教区の司教研修会
  - 27日 吉塚教会堅信
  - ☆福岡黙想の家
    - 11月1日 外人司教の集い
    - 2~3日 礼拝会学生黙想会
    - 5~6日 北九州レジオ・マリエの黙想会
  - 12~13日 共助組合研修会
  - 14日 光丘幼稚園の父兄研修会
  - 19~20日 佐賀地区の青年黙想会
  - 21~22日 児童福祉施設職員の研究會
  - 22~23日 聖母マリエスタ会九州ブロックの集い
  - 26~27日 福岡社会黙想会

## 一人びとりの教育を大切に 創立五十周年の福岡雙葉学園

### 世界的視野の気品ある家庭女性作り

十月十八日、幼稚園から高校までの女子の一貫教育を続けている福岡市中央区御所谷の学校法人福岡雙葉学園(井手澄江理事長)の創立五十周年式典が、同学園で盛大に催された。

先ず午前十時から、平田福岡司教、深堀高松司教外十三人の司祭による共同ミサがささげられ、会場を埋めつくした三人の来賓、生徒代表とともに神と人への感謝、今後の発展と大きな飛躍を祈った。続いて記念式典に移り、理事長事や福岡雙葉学園の経営母体であるサン・モール修道会の日

本管区長の挨拶があった。福岡県知事(代理)をはじめとする来賓の祝辞と福岡も多数披露され、拍手のうちに永年勤続者の表彰があつて式典を終了した。その後、体育館で行われた祝賀会は大変な賑わいであつた。福岡雙葉学園(前身は福岡女子商業学校)は、昭和八年、当時のサン・モール修道会の日本管区長であった井手澄江理事長の日本管区長として創立された。開校当時は、県立局の要望による福岡女子商業学校として発足したが、その建物は、福岡天主教公共教師団のアルベルト・フ

ルトン司教が小神学校用に現在地に建てていたものを譲りつけ、改めて造じた貧弱なものだった。その時、生徒は、第二本科四十人、第三本科十二人であつたという。

昭和十二年、日中戦争が始まつて、戦争の影響を受けた学園には夏休みの勤勞奉仕、なきたたの訓練などが強要された。大東亜戦争に突入した昭和十六年には、第二代校長メル・エンタが長崎に抑留の身となつた。受難時代はますますきびしさを増して来た。昭和十九年、校舎も軍隊に徴発され、昭和二十年六月の福岡大空襲で、校舎の大部分が灰じんに帰した。当時を知る人の話では、生徒は二個の丸椅子に長い板をのせた長椅子で授業に与つたそうである。

昭和二十年、終戦による安堵感と空しさが混在していたとき、学園は希望をもつて再建に取りかかつた。昭和二十一年三月、福岡雙葉高等女学校と改め、翌年中学校も併設された。昭和二十三年四月の学制改革により、福岡雙葉高校と中学校は衣替へした。そして、「中等、高等普通教育、専門教育を施し、兼ねてカトリック教の精神に基づき豊かな宗教情懷を培養して、人格の完成に努める」女子学園に発展することになった。

井手澄江理事長が示す教育目標は、「世界的視野をもち、清楚にして気品があり、家庭を立派に守る日本女性の育成にある。そのため、戦前も戦後も時代にかかわらず、キリストのみ教を基として永遠不変の精神をもつて教育する信念を失わない。眞の発展は生徒

数が多いとか、大学進学率がよいとかで決まるものではない。人間一人ひとりが神さまからつくられた尊い人格であるを自覚し、一人ひとりが大切に教育されているかどうかにかかっている」と断言してはばからない。

それにも拘らず、昭和二十六年の幼稚園と昭和二十九年の小学校の設立によって、幼稚園から高校までの一貫教育を進める総合学園となつた。現在、学園の在校生には、幼稚園二百二十六人、小学校四百九十八人、中学校四百七十七人と高校八百五十五人、しめて二千四十八人の大世帯が算へられる。

マザー・テレサ(ノーベル平和賞の受賞者)と学園生徒との感動的な出会いが、貴重な体験の一つとして役立つ出来事であつた。約二十分に及ぶ「祈りと犠牲と愛の必要性」を訴えた彼女の講話は、乙女の血潮を沸かせるに十分な内容であつた。愛するもの美しさに、共鳴した若者は多かつたに違いない。昭和五十六年二月の教室ヨハネ・パワロ二世の来日も、日本国内に平和旋風を巻き起こした出来事であつた。

「徳において純真に、義務においては堅美に」を福岡雙葉学園教育に奉仕しているマザー・テレサが創立し、全国各地でまた各県で母校の名を高める生活を果たしている。五十年前に始られた種が、立派な実を結び、収穫の時を迎えようとしているのである。まいか。一粒の麦が落ちて、死ねば多くの実を結ぶ」の聖書のみことば通りに、先人たちの偉大な足跡が感謝のうちに傳はれる。

Custom Tailor

### 永洋服店

福岡市中央区浄水通8-8  
TEL 531-3831  
夜間 521-0820

## 祭壇・洗礼盤他

石影の  
大御そ  
素材

石のパイオニア  
高木石材株式会社  
〒860 熊本市段山本町2-21  
TEL 52-2417

### 三年半ぶりのパパとの再会 笑顔が戻る定住の難民一家

本紙五月号で紹介した難民のベトナム難民定住者ラアン・ニティ・ゴさんの夫であるド・ヴァン・トウさんが、十月十八日(火)マレーシアの赤十字難民キャンプから、家族と二緒に住むため熊本空港に着いた。三年半ぶりの再会、来る喜びに胸をときめかせながら待つ母子五人。日焼けした顔の出迎えを受けたトウさんは、子供達の成長が驚いた様子だった。

かれはベトナムをよつこの思いで脱出し、マレーシアのキャンプでただひたすら妻と子供のことを想うつらい毎日を送った二年間、笑顔をくれたさに見え顔であったが、「アリアトワ」慣れるようがんばってほしいと

「これから三月ぐらいは休養と日本語の習得に専念し、その後仕事を覚え、徐々に日本の生活に慣れるようがんばってほしい」と

### 移住の日献金 (9月11日)

大名町	106,200	馬渡島	13,790	飯田行	12,000	塚川橋	12,000
大浄水	25,000	小直郡	6,807	田手荒	5,000	尾吉	5,000
光丘	66,452	新田	6,000	人本	14,464	渡軍	26,000
大箱	16,550	万原	77,930	本	6,750	山	6,750
笹丘	15,000	里	8,570	健	19,440	侯	4,400
西新	31,591	栖	7,440	帯	17,000	江	17,000
野島	41,655	武	11,230	水	10,000	津	5,000
美高	7,000	多	2,000	大	2,250	崎	8,000
野宮	50,000	門	3,000	崎	17,500	名	12,800
高司	20,000	司	28,683	島	59,502	代	8,000
志塚	4,942	港	11,542	玉	54,304	池	5,000
古免	23,000	倉	75,499	八	9,910	津	8,000
志賀	27,705	川	59,502	菊	24,050	志	24,050
志市	21,000	畑	54,304	合	1,356,534		
今米	46,620	松	9,910				
大村	15,000	神	20,000				
今村	107,850	王	10,000				
本郷	22,501	水	22,000				



父帰るで笑顔につつまれた難民一家

このうれしい出来事があった十六日(日)のミサの中では、ゴさん一家の神に対する祈りがむくむく取り上げられ、教会の「保護と祝福を心より祈りたい。」(文責健康・福山)

### 聖年の歴史的な素顔を考える 解放の裏側に神への信頼と福音的回心

聖年の源流を、遠く天地創造の日における神の安息の精神に見てみる。神は第七日目、なされる業を完成し、第七日目、そのみわざを終えて、安息された。神は、第七日目を祝して聖とされた。そのすべての創造のわざを、その日に休まれたからである。「創世の書一・二三」

### 聖書週間(十一月二十日～二十七日)

この聖なる休息の七日目の故事の中に、唯一の創造の神ヤウエの確証(礼拝)と人間の結びつきを求められているような気がする。神は、その選民イスラエル人に對して、七の神聖な数字に注目させる。神は「ナイ山上で、モーセに(和解とゆるし)と免償の笑みがある聖年を過せよ。」(山田)

「主を祝つたための安息年を七年目毎に命令する。また、七年の七倍数をえたる四十九年の第七の月の十日目に、ヨベルのらつぽを響かせて五十年目の聖年を宣告するよう望んでいる。旧約時代の聖年に際し、神はつきよの点を訴えた。(1)休耕(農作業を休む)の年、(2)土地家屋買収における永久所有の禁止、使用権は認めらるが、聖年には元の所有者に返納する。(3)買った奴隷も聖年には解放する。(4)貧しい同胞の生活を助ける。(5)七十特別聖年は、特別の機会・事由によつて開かれ、普通聖年と区別される。最新の特別聖年は、ピオ十一世による一九三三年に、救世の千九百年記念のために行われたが、今年の特別聖年も、救世の千九百五十年を祝つたためである。ヨハネ・パウロ二世は、この聖年を世界解放の年と位置づけ、解放は教会の永続している神聖な賜物、諸聖人の交わりの参加による心の解放、普段以上に神の赦しと憐れみを呼吸する「福音による回心」神なる解放者にもつと信頼することを要請している。(参照)聖年の扉を讀くに当たつて、マリヤから受け、十字架の犠へて献げられた復活のキリストの体に結びつけられた解放を表現するために、(和解とゆるし)と免償の笑みがある聖年を過せよ。」(山田)

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険



株式会社

# 藤木工務店

取締役社長 藤木 鐵 三  
福岡支店長 池内 満

福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他

## 松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

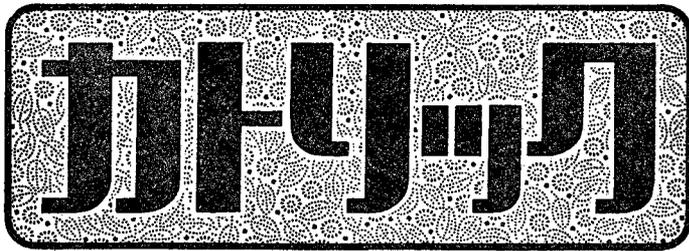
北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 771-3657

# 吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568



平田 司教 認可  
 発行所 福岡市中央区浄水通39  
 福岡司教館  
 発行兼人 山田 成章  
 編集人 電話092-522-5139  
 振替口座 福岡3-42981  
 定価 一部 25円

祈禱の使徒会  
 (二股) 原爆廃止の実現  
 (布教) 第三世界における労働者

### 愛の福音宣教への過程を探る 福音に生き伝える共同体作り 信徒に対する信頼を大切に

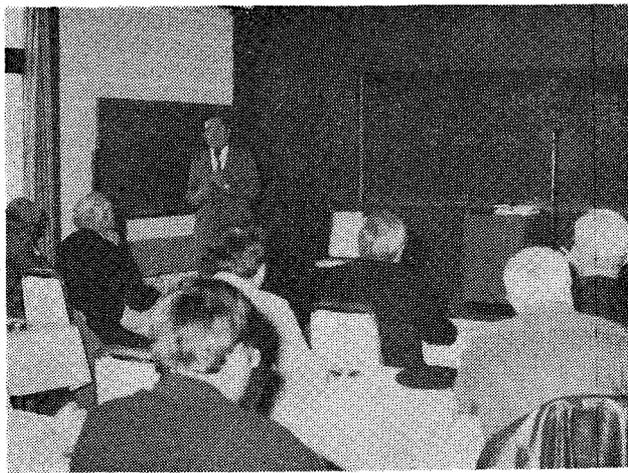
#### 阿蘇中腹での教区司祭の研修会

十一月二十日、阿蘇山の中腹海抜八〇〇米の阿蘇観光ホテルで、日本宣教師センター所長佐々木博神父を迎えて、二泊三日の福岡教区司祭の研修会が開かれた。

平田司教以下三十四人の参加者は、快晴に恵まれた阿蘇の雄大な絶景に心身を癒しながら、有為義なそして啓蒙的な研修会を終了することができた。

今ここに、紙面が許す範囲において講話のあらましを述べ、読者や価値観の福音化に役立つ活動の参考と供したいと思う。

教会は本質的に、宣教を目的にしている。宣教が神の派遣によって始まる以上、教会が神の業に参与することに。宣教をまた、福音化に置きかえて考えることもできる。そのよりボランティア活動を通しての宣教のあり方も重視しなければならぬ。日本人の神観は多種多様で、辞書の中には八百以上の神のほかにキリスト教の神が説明されているほどである。ここから、日本人のメンタリティーや価値観の福音化に役立つ活動が



佐々木神父の講話

#### 望まれる。

福音宣教へのプロセスとして、先ず入出合いが考えられる。これはあくまで、一方的な扇動行為(アソシ)とは異なる。イエスとサムリアの女のよきな対話から始まる。△対話△から聖霊の働きを△発見△する。対話によって信仰のすばらしさ、愛肉の神秘を発見する。正に聖霊降臨である。聖霊の導きによって、文化・伝統・宗教の中にあふまじき種を育てていく所謂△変革△に進む。最後に、新しい姿の入出合い△に戻るのである。対等の出会いから共同体に発展する。

教会共同体作りの前に、司祭の共同体が形成されているか。人間の心情を示す司祭、聞く姿勢、耳を手足に阿蘇を後にした。



研修会参加の司祭たち

「毎度お騒がせいたしております。こちらほちり紙交換でございます。」

#### 光

すしこの毎月幾度か耳に入るスビーカーの音がなると、静かな住宅街の人々の気持が複雑に揺れる。一方、クリスマスセーブルは十二月の街の騒音い風物詩の一つになっている。騒音不感症になつたのか、心頭滅却の境地で悟りを得たのか、ことしも生き延びてクリスマスを迎えることになった。サンタのおじさんには、しばしの静けさを心待ちしている▼来年三月二十五日、ローマで催される聖年家庭の日は、家庭の団欒の見直しを訴えるものではないだろうか。離婚による崩壊家庭は世界的な現象で、わが国も例外ではない。昭和五十七年の結婚組七十七万六千に対する離婚十六万四千件は、離婚先進国の名に値する数字であろう。結婚はゴールではなく、第一ハードルとみる現代人が少なくない。成熟した結婚生活は、第二ハードルで得られるという。神の御知に反する風潮では?▼親のだからさや大人の倫理感喪失が、このもの辛抱不足と青少年の非行に結びつくのは、自明のことだ。近所付き合いの足りない大人のために幼稚園教育が望ましい。幼児は、ここを通して社会性と集団生活の必要事を体得する。大人の幼稚園の代役は、隣人との触れ合いの場である。信頼できる家庭を発見し学ぶことよって、家庭の喜びと責任を再認識するのではないだろうか。孤独に生きる家庭が多いのには、驚きの外ない。



### 東洋警備保障株式会社

代表取締役社長 瀬戸 福一

福岡市博多区堅粕4丁目1-12 嶋井ビル2F

TEL 福岡 (092) 471-0245(代)

管制センター TEL 福岡 (092) 471-0279(代)

### 熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
 52-8622

### 司祭五十年の栄冠に輝く 柔和な牧者オブライエン師



と約四十人の司祭による金祝感謝ミサが行われた。ミサ後の祝賀会で、ディキン地区長はオブライエン師の経歴を紹介し、オブライエン師は謝辞とともに懐旧談を語って、古き良き時代の宣教師の姿を浮き彫りにした。

オブライエン師は一九〇九年一月二十二日アイランド団に生まれ、二十四歳の時司祭に叙階。翌年十月二十日、故ドイツ師と一緒に来日神戸港に着いた。翌日東京に発ち、関口教会で日本語勉強に専念する。一九三六年千葉県銚子の海上療養所に勤務、一九三八、三九年、ドイツ師とともに韓国の本浦に渡り、当地の日本人信者の面倒を見た。戦時中は抑留の犠牲を強いられたが、終戦直後は株

正確に言えば、ジョゼフ・オブライエン師(聖コロンバン外国宣教会)の司祭叙階五十年目は、十二月二十一日である。でも祝賀会は何回くりかえされても、有難いものであり、周囲の人たちにも励ましになるものだ。既に教区行事としては三月三十一日(金祝)バディが催されていたが、今回、聖コロンバン外国宣教会九州地区主催の祝賀会が開かれた。

十二月二十二日午前十一時半から、主司式者平田司教、平田司教

### 聖年大会のスケジュール決定 費用の助け合いで盛り上がり

#### 第三回聖年大会準備委員会

第三回聖年大会準備委員会が、十一月十九日(土)午後三時から福岡司教館で開かれた。テーマは、

- 十二月の聖体礼拝当番教会
- 十二月 四日 今村
  - 十二月 十一日 本郷
  - 十二月 十八日 小郡
  - 十二月 二十五日 伊万里

暇を得て故園に帰った。一九四八年一月六日再び来日、東京の聖母病院で宣教師活動をはじめ。同年六月和歌山、片瀬、藤沢、茅ヶ崎や大磯教会に奉仕する。その間聖コロンバン外国宣教会の日本管区長代理を務めたこともあった。一九六八年から、現在の手取教会の司教宣教師に就任している。

救いの喜びを(家庭の平和)である。スケジュールはつぎの通り

- 十一月 聖歌(深堀純氏指揮)、十一時十五分講演(信仰の密度の濃い話)、子どもたちのために映画(アントニーノ鑑賞、十二時昼食、十二時四十分親睦の時間とアトラクション(要理の子どもの歌・聖劇 信仰体験発表)、十四時信仰体験発表(十分宛三人即ち青年一人、マリッジ・エンカウター一人、修道者一人計三十分)、十四時四十分休憩(十分)、十四時四十分自閉式ミサ

つきに大予算の審議に入り、一応の予算案を作製した。大会予算は五三五万円、これを各地区の教会の信徒美教に二百円を掛けた金額で分担していただければ、と準備委員会は各教会の温かい理解と支援を期待している。それによれば、福岡地区二百五万円、北九州二百一十万円、熊本八十万円、佐賀地区四十万円の負担になる。分担金の送付先は、福岡司教館山田成聖院。北九州・熊本・佐賀地区は、地区毎に一括して来年一月末日まで、福岡地区は各教会毎に二月五日までにお願いしたい。郵便振替の場合、口座番号福岡六一〇七二九、加入者名福岡カトリック司教区とし、通信欄に聖年大会分担金と必ず記入する。

### 盛んな各地区の聖年行事 聖年大会や長崎巡礼など

十月三十日(日)午後一時、熊本県聖年大会が熊本市健康町のマリスタ学園体育館で催された。絶好の秋日和に信徒の出足も良く、県内十四の教会から約一千人の修道者・信徒が参加した。遠い天草地区からも、貸切バスやマイカーを連ねて多くの信徒が集まった。

主司式者山田成聖院を中心とする七人の司祭の共同ミサが、信仰の熱気の充満のうちに終わった。やや興奮気味に、八代教区主任黒川博樹が二十分ほどの説教を行い、会場の参加者、信仰の大切さと生命をかけてでも守り抜く必要性を力強く訴えた。ミサ中の奉納品は

それぞれの特徴を出した、生鯛、茶、畳表、みかん、なす、菓子、生花などであった。

ミサ後すぐに、三人の信徒の信仰体験発表があり、信仰による喜びの分かち合いのうちに散会。時計の針は、三時五分であった。

佐賀県の信仰共同体は、聖年行事の一つとして長崎浦上教会への巡礼を実施した。県内から司祭十八人、信徒四五〇人が参加、貸切バスで浦上に向かった。平田司教も特別参加し、長崎浦上教会に到着して浦上で合流した。浦上主堂では、平田司教と十人の司祭の共同ミサが十一時から捧げられ、聖年の豊かな恵みを祈り合った。

### マザー・アントワネット逝く 生涯を聖体礼拝と祈りの中に



福岡市南区塩原三の永久聖体礼拝の聖カララ修道会のマリア・アントワネット院長は、十一月十日午後八時半、脳血栓と肺炎の併発のために九州国立病院で八十三年

の生涯を全うした。

通夜は翌晩七時から修道院礼拝堂で行われ、多数の修道女や信徒が参列し、永久の別れを惜しんでいた。聖儀ミサならびに告別式は十二月午後一時から、大橋教区主任堀要吉師の主司式による十人の司祭の共同ミサが捧げられたが、故人の遺徳を偲ぶかのように堂内に溢れるほどの会葬者が永遠の安息を祈りつつ黙花していた。

### 第9回カリスマ刷新全国研修会

テーマ 主よ、地の表を新たに  
日時 昭和59年1月4日(水)午後5時(ミサ)より1月7日(土)正午まで(三四日)  
会場 熱海市東海岸12-27 ホテル・暖海荘 Ⅷ 0557(81)5123  
会費 ￥27,000(申込金 ¥7,000当日納入 ¥20,000)  
164 東京都中野区東中野4-17-4  
カリスマ刷新全国委員会 電話 03(362)9797  
申し込み先き 申し込みは早目に・詳細は福岡司教館 Br床島・Br杉山に

### 総合建設業

## 八千代建設株式会社

取締役社長 田中 清郎  
取締役副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 531-1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

### (株)メガネの正視堂

代表者 ファンシスコザビエル 日井芳数  
行橋市駅通り本店 電話 2-0646  
" 駅前5秒店 電話 2-2390  
北九州市黒崎年金病院前店 電話 641-4321  
" ダイエー城野店3階 電話 922-5637



# キリシタン美術茶会に出席して

## 下川節子

四百年前のキリスト信者に出逢ふに御招待が来たをぞです。その様な思いがけない機会に恵まれましたので、その感激をお伝えしたく報告致します。お茶をたしなんでいると云える程ではございませんでしたが、たまたま小神学校のお掃除にいたった時の縁でキリシタン茶会にすめられました。焼物を少しばかり自作して楽しんでる私は、有難く出席させていたたく事に致しました。

私設久我美術研究展不館(福岡県粕屋郡須恵町藤浦七七一)館長久我五千男)で、美術館の収蔵品を使用するキリシタン茶会が茶道南坊流南坊会の主催で開かれました。「信者のお茶の好きさ方はさぞ喜ばれる事でしょう」との御好意で、西日本新聞社を通じて教

### 布教の日献金 (10月23日)

町通	105,560	新田	137,550	川取	14,500
浄水	30,000	原橋	21,830	尾渡	27,000
大箱	66,685	行呼	17,405	本健	16,500
丘新	16,175	佐賀	15,000	渡軍	6,800
笹野	15,000	唐里	10,400	水山	20,000
野島	21,596	万津	10,290	侯江	14,000
宮司	31,000	里酒	17,800	江津	5,000
高野	5,000	久島	3,650	崎名	6,660
老司	53,600	島久	12,000	池名	25,000
吉司	32,000	多松	13,724	志代	44,000
志古	27,329	門司	11,195	池志	10,500
古二	5,926	小湯	99,486	合八	10,000
久大	32,772	戸若	26,564	計	52,374
今小	50,000	天黒	54,164		21,500
馬渡	42,888	水飯	4,340		28,100
直方	35,100	神町	52,000		
	194,294	崎寺	50,620		
	16,741	王卷	8,000		
	12,880	家免	21,424		
	4,000	賀米	16,500		
		田村			
		郡都			
		渡島			
		方直			

川陰刻銅鐘(ガランヤ遺物のため建てられた小倉聖堂のもの)の合図で入席致しました。お席の中央には、日本人によって当時描かれたと思われる油彩テンペラの聖母像が飾られ、高原五郎七のものと伝えられる十字架入りの青磁茶碗で献金されました。傍らの花入れは、X形ロザリオ文様入りの伊万里焼でした。菓子器は花鳥松竹梅の華麗な絵模様の中にさりげなく十字架を入れた柿右衛門鉢で、盛られたお菓子も葡萄酒で染める等のお茶入れも力強い堂々たる風格の十字型の織部焼で、おかままで鉄の十字架の枠がとりつけられていました。お茶碗は豊前小倉焼(細川忠興のお庭焼)の十字架を大きく入れた武士のものらしい豪快さのあるもので、私が戴いたお抹茶碗は黒く、これも白で大きく十字架を入れたものであります。四百年昔のキリシタンの人々が戴いた同じお茶碗で、お茶を一杯だけ飲んだら、南坊の方の御挨拶も「この様なお道具を使ってお茶会をされたら、南坊の方の御挨拶も「この様なお道具を使ってお茶会をされたら、南坊の方の御挨拶も「この様なお道具を使ってお茶会をされたら、南坊の方の御挨拶も」

### 十二月命日の司祭

- ▼シエームス・マグラ神父(ゴロン) 八日 宣教会 一九七六年十二月十八日 元報本マリスト学園付き
- ▼パウロ青木功神父 一九七三年十二月十九日 元行橋教会主任
- ▼ミセル・ソレ神父(パリ外国宣教会) 一九七一年十二月二十日 元久留米教会主任

### 教区内難民施設

- 一、山田市大字下山田三四四一 大法園(日赤) 電話〇九四八五
- 二、熊本原上益城郡益城町大字寺迫九六四益城古城園(日赤) 電話〇九六二八一八八八二現在収容約四十五人、各施設とも半数以上カトリック信者である。

だきました。緑色の十字架を大きく正面に彫り入れた、信仰の強さがせまってくる様な力強さとおたたかきを感じる白磁の聖水入れが印象的でした。細川三善忠興がキリシタンに好意をたもっていた時代、ガランヤ夫人のため小倉に聖堂を建て約十年間逗留させられた時代に焼かれた出のや三本釘をかき入れた祭具や、天二栄光、地二平安アレの聖前入り茶碗。武家の茶風を感じる力強い洪い鉄袖の水指等の豊前小倉焼(窯跡が小倉の菜園場で見え)古薩摩焼の中にみつかった白十字架の聖水器や洗礼鉢。その中でも興味を引く、俵形の洗礼鉢の内側に形とられた幾許じも自留目の様な段々形、これはタリアアのトスカーナヒサ大聖堂東入口門扉「キリスト洗礼」フロンズ浮彫に見るキリストを覆う段々と同じものを感ずる。ヨルダン河の流れを象徴している直感した「この久我氏の見解。私も十字は入っていませんが古款等に多く俵形を好んで焼いているのを見ますが、昔人の米の大事さを感じさせ、そのみぞは俵を長くあらわしています。その大事な俵のみぞを、ヨルダン河の流れにみたためではないかと私なりに感じました。それとも、キリシタン器の方が先でしょうかしら。

これらの品々は、他所でみる事の出来ない素晴らしい信仰の糧とならぬばかりで、秋日和の中、展示室の拝見の後、秋日和の中、鮮もつせんで覆ったお席に腰をか

信頼に誠意と技術でこたえる

**株式会社 藤木工務店**

取締役社長 藤木 鐵 三  
福岡支店長 池内 満

福岡支店 福岡市博多区博多駅南4-18-2 電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市博多区中洲5-4-12  
A I U福岡ビル内  
大石保険事務所 大石 貞澄  
〒810 TEL 272-0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他

**松尾産商株式会社**

社長 松尾 光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23  
TEL 771-3657

**吉川病院**

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 521-0568